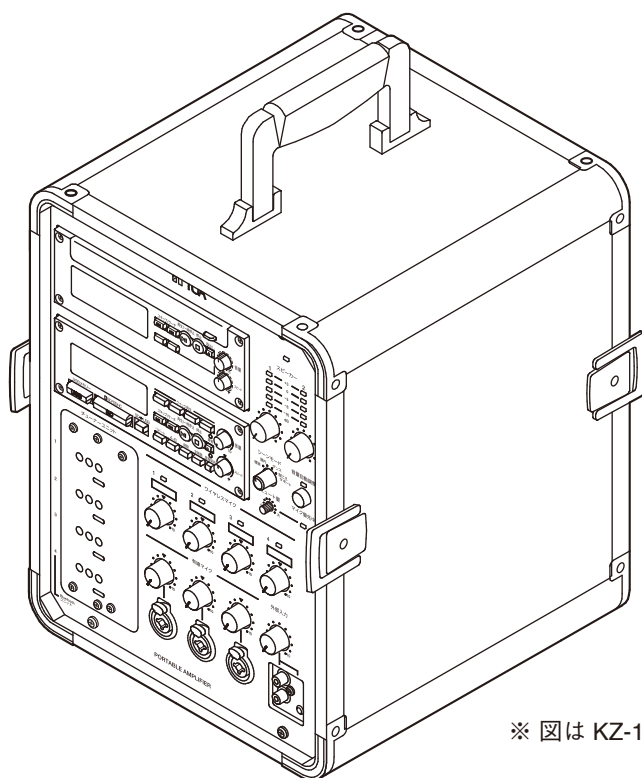


移動用 PA アンプ**120 W × 2 CD 付****KZ-120CD****120 W × 2 SUC 付****KZ-120SC****120 W × 2 SUC 付
(ハイインピーダンス出力)****KZ-120SC-H**

※ 図は KZ-120SC です。

このたびは、TOA 移動用 PA アンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。





正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	3
概要	6
特長	6
電源コードの取り扱いについて	7
上手にお使いいただくために	7
各部の名称とはたらき	8
[前面]	8
[後面]	10
ミュート量の調節	11
最適な音質に調節する（シーンモードスイッチ）	11
保護回路	11
接続・設置のしかた	12
各種入力機器の接続	12
スピーカーの接続	12
パワーアンプの接続	14
CD プレーヤーユニットの使いかた	15
各部の名称とはたらき	15
CD プレーヤーユニットをお使いになる前に	16
CD 再生のしかた	17
エラー表示一覧	25
コンパクトディスクの取り扱いかた	26
SD/USB プレーヤーユニットの使いかた	27
各部の名称とはたらき	27
SD/USB プレーヤーユニットをお使いになる前に	28
SD カード／USB メモリー再生と録音のしかた	31
エラー表示一覧	48
有線マイクの使いかた	49
ワイヤレスマイクの使いかた	50
使用上のご注意	51
チューナーユニットおよび Bluetooth® ユニットの組み込みかた	52
周波数の設定のしかた	53
トーンスイッチについて（WTU-1820 使用時のみ）	57
コード設定（WTU-D2810 使用時のみ）	58
Bluetooth 機器の使いかた	59
外部入力機器（音源機器）の使いかた	60
複数の音源をミキシングするときのコツ	61
故障かな？と思ったら	62
仕様	66
KZ-120CD	66
KZ-120SC、KZ-120SC-H	67

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 分解禁止	 強制
 禁止	 電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

ハイインピーダンスライン接続時は電源を切る

(KZ-120SC-Hのみ)

ハイインピーダンスのスピーカー端子にスピーカーケーブルを接続したり、外したりするときは、電源スイッチを切ってから行ってください。この端子には定格出力時に 100 V の電圧がかかり、触れると感電の原因となります。



強制

配線後は端子カバーを取り付ける (KZ-120SC-Hのみ)

ハイインピーダンスラインのスピーカー端子には最大 100 V の電圧がかかりますので、触れると感電の原因となります。



強制

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

落雷防止の対策をする

避雷針から 5 m 以上離し、避雷針の保護範囲 (45° 以内の角度) に取り付けるなど落雷を防止する対策をしてください。
落雷により、火災・感電・けがの原因となります。



強制

電源のアース接続をする

アース接続しないと、感電の原因となります。
アース接続は、必ず主電源プラグを主電源に接続する前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。



アース線を
接続せよ

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき (心線の露出、断線など)
- 音が出ないとき



電源プラグ
を抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口や CD・SD/SDHC カード・USB メモリー挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

屋外で使用中に雷が鳴り出したら直ちに使用をやめ、マイクやワイヤレスアンテナを体から遠ざけてください。
感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

本機を通路などに置かない

通路など、人が足を引っ掛ける可能性がある場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

ハンドルを吊り下げて設置しない

ハンドルは本機を持ち運ぶときだけに使用してください。
守らないと、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因
となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となる
ことがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッ
チを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

概要

定格出力 120 W のデジタルアンプを 2 チャンネル搭載し大出力が可能な業務用の PA アンプです。アルミケースに組み込まれており、持ち運びに便利です。

内蔵の演奏機器や使用できる音源メディア、接続できるスピーカーの種類によって、次の 3 タイプがあります。

品番	演奏機器	使用できる音源メディアの種類	接続できるスピーカーの種類
KZ-120CD	CD プレーヤーユニット	CD	別売の KZ-1200、KZ-1200E
KZ-120SC	CD プレーヤーユニット SD/USB プレーヤーユニット	CD、SD カード、USB メモリー	別売の KZ-1200、KZ-1200E
KZ-120SC-H	CD プレーヤーユニット SD/USB プレーヤーユニット	CD、SD カード、USB メモリー	ハイインピーダンス 100 系

また、別売のワイヤレスチューナーユニットを 4 台装着できます。そのうちの 1 台は、別売の Bluetooth ユニットに置き換えることもできます。(P. 52)

特長

● 大出力で持ち運びに便利

定格出力 120 W × 2 の移動用 PA アンプです。

デジタルアンプの採用で小型軽量化（当社従来品比 30% 減）、アルミケースに組み込まれており、持ち運びに便利です。

● ハウリング抑制機能（FBS 機能）や自動音量調整機能などを搭載

- ・ハウリング抑制機能
- ・音源ごとに音量差を整える自動音量調整機能
- ・マイク放送時に BGM などの音量を下げるミュート機能

● 簡単操作で、シーンに合わせた最適・明瞭な音質

使用場所や用途に応じて「標準」「屋内」「ダンス」「聞こえサポート」の 4 つのモードを切り換えることで、簡単に最適な音質に調整できます。

「聞こえサポート」には高齢者にも聞き取りやすい、音声明瞭化技術を採用しています。

● CD、SD、USB に加え Bluetooth にも対応

別売の Bluetooth ユニットを装着すれば、スマートフォンなどから Bluetooth 接続で音源を再生できます。CD プレーヤーはギャップレス再生にも対応しています（市販のオーディオ CD のみ）。

電源コードの取り扱いについて

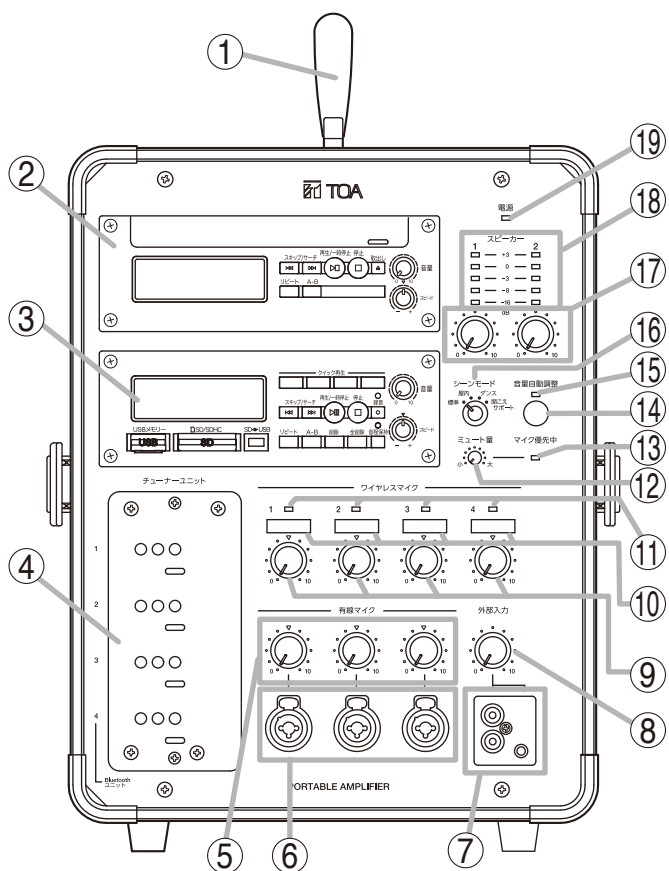
付属の電源コードは、本機専用品です。
本機以外の機器に使用しないでください。

上手にお使いいただくために

- 本機は、直射日光の当たらない場所に置いてください。
また、本機内部の温度が極端に高くないようにするために、本機の周りに囲いなど、通風を妨げる障害物を置かず、風通しのよい場所に置いてください。
- ハウリングが起きにくいFBS（ハウリング抑制）機能を内蔵していますが、ハウリングが起きるときは、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げて使用してください。
スピーカーをマイクの使用場所から離して設置すると、ハウリングが起きにくくなります。
- 本機を床面よりも机の上など少し高い位置に設置すると、ワイヤレスマイクを本機からより離れた場所で使用することができます。
- ワイヤレスマイクを移動しながら使用すると、電波の反射や干渉によってデッドポイントと呼ばれる、急に音がとぎれる場所が発生することがあります。
デッドポイントを解消するためには、本機を壁や机から離すか、設置場所を1～2m動かしてください。
- 蛍光灯やパソコンなどの高周波雑音を発生する機器から本機を離して設置してください。
近くに設置すると、混信が発生したりワイヤレスマイクの電波が届きにくくなったりすることがあります。
- ワイヤレスマイクと本機はなるべく3m以上離して使用してください。
3m以内で使用すると、雑音が発生したり混信の原因になったりすることがあります。
- 保管するとき、自動車のトランクや荷台に積み込んで移動するときは、必ず本体のハンドルが上になるようにしてください。CDプレーヤーが正常に動かなくなったり音飛びの原因になったりします。
- 清掃は必ず電源を切ってから、乾いたやわらかい布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因となります。

各部の名称とはたらき

[前面]



※ 図は KZ-120SC です。

1. ハンドル

持ち運びのときに使用します。

2. CD プレーヤーユニット

操作のしかたは「CD プレーヤーユニットの使いかた」(P. 15) をお読みください。

3. SD/USBプレーヤーユニット(KZ-120SCのみ)

操作のしかたは「SD/USB プレーヤーユニットの使いかた」(P. 27) をお読みください。

4. ワイヤレスチューナーユニット収納部

別売のワイヤレスチューナーユニットを収納するスロットが4つあり、ワイヤレスチューナーユニットが計4台組み込みできます。4番スロットには、ワイヤレスチューナーユニットの代わりに別売のBluetooth ユニットの組み込むこともできます。適合するユニットは次のとおりです。

ワイヤレスチューナーユニット	WTU-1820 (アナログ)
	WTU-D2810 (デジタル)
Bluetooth ユニット (4番スロットにのみ収納可)	WTU-BT01

ワイヤレスマイクを使用する場合は、別売のワイヤレスマイクと本機に組み込んだワイヤレスチューナーユニットのグループ、チャンネルを合わせてください。

(▶ P. 53 「周波数の設定のしかた」)

Bluetooth機器を使用する場合は、市販のBluetooth機器と本機に組み込んだ別売のBluetoothユニットをペアリング(接続)してください。(▶ P. 59 「Bluetooth機器の使いかた」)

5. 有線マイク音量つまみ

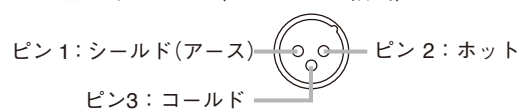
マイク入力端子(6)に接続された有線マイクの音量を調節します。

6. マイク入力端子

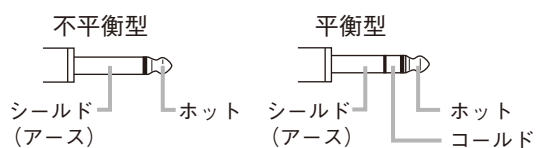
-60 dB*1、600 Ω、平衡、XLR-3-31 相当品/ホーンジャック共用型有線マイクを接続します。

使用できるコネクター

- XLR型コネクター (XLR-3-12C相当)



- ホーンプラグ



7. 外部入力端子

RCA ピンジャック : -10 dB*1、5 kΩ

ステレオミニジャック : -22 dB*1、2 kΩ

携帯音楽プレーヤーなどを接続します。

ステレオで接続してください。内部でステレオ信号がミキシングされてモノラルになります。

8. 外部入力音量つまみ

外部入力端子(7)に接続された機器の音量を調節します。

9. ワイヤレスマイク音量つまみ

ワイヤレスマイクの音量を調節します。

10. カラーマーク貼り付け位置

チューナーユニットに付属しているカラーマークをワイヤレスマイクのカラーマークと色を合わせて貼ってください。

別売のBluetoothユニットを使用するときは、Bluetoothユニットに付属しているBluetoothマークを貼ってください。

*1 0 dB = 1 V

11. ワイヤレス受信表示灯


ワイヤレスマイクの電波を受信すると点灯します。デジタルワイヤレスチューナーユニットを組み込んでいる場合は、妨害電波を受信したときやコード設定 (P. 58) が一致していないときに点滅します。

別売の Bluetooth ユニットを使用するときは、状態に応じて次のように動作します。

状態	動作
ペアリング中／待機中	点滅
ペアリング完了	点灯

12. ミュート量調節つまみ

マイク放送 (ワイヤレスマイクを含む) 時に、下記の機器の音量 (BGM) を自動的に下げる量を調節します。


- CD プレーヤーユニット
- SD/USB プレーヤーユニット
- ペアリングした Bluetooth 機器
外部入力に接続された機器
( P. 11 「ミュート量の調節」)

13. マイク優先中表示灯

マイク放送が他の機器に優先して放送されているときに点灯します。

14. 音量自動調整ボタン


(CD プレーヤー、SD/USB プレーヤー、Bluetooth 機器、および外部入力に対してのみ) 音量自動調整機能*²の有効／無効を切り換えます。押すと機能が有効になり、もう一度押すと無効になります。

*² 録音レベルの異なる音源を自動的に同じくらいの音量で聞こえるように調整することができます。( P. 61 「複数の BGM 音源機器の出力音量をそろえるには」)

15. 音量自動調整表示灯

音量自動調整機能が有効のときに点灯、無効のときに消灯します。

16. シーンモードスイッチ

使用する目的に合わせて音質を調節します。
( P. 11 「最適な音質に調節する (シーンモードスイッチ)」)

17. スピーカー音量つまみ 1、2

スピーカー出力端子 (24) に接続されたスピーカーの音量を調節します。

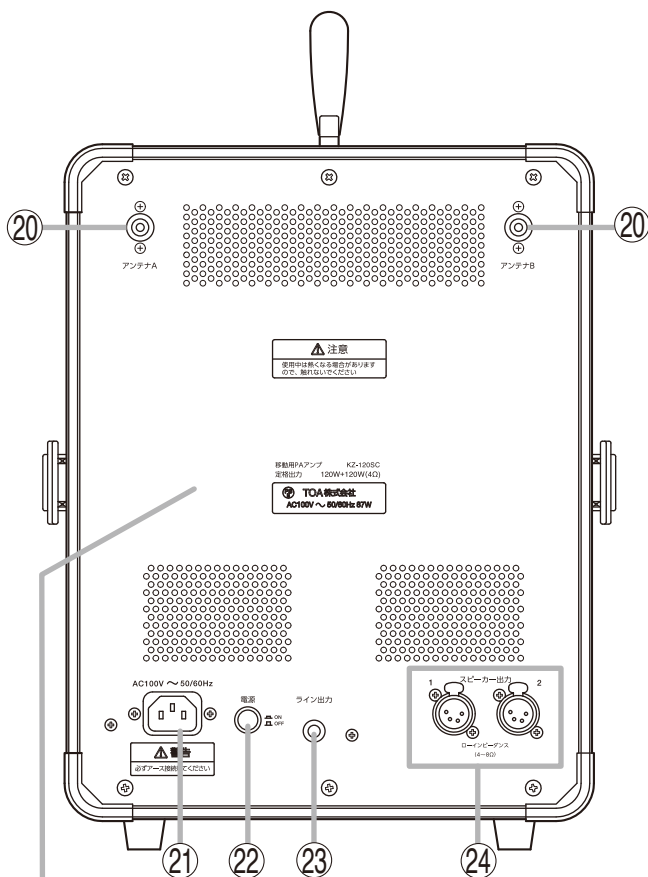
18. スピーカー出力表示灯

スピーカー出力端子 (24) の出力の大きさをそれぞれ表示します。

19. 電源表示灯

電源を入れると点灯します。

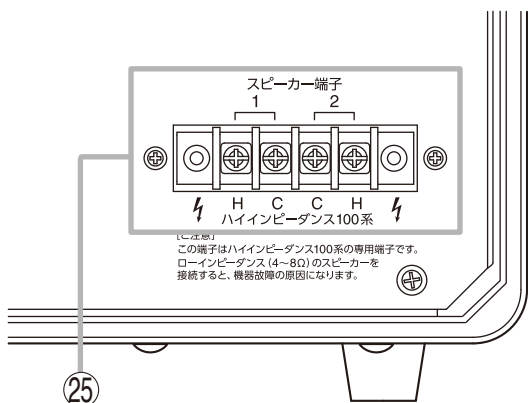
[後面]



※ 図は KZ-120SC です。

注意

使用中または使用后すぐに、後面にさわらないでください。
後面が熱くなっていることがあり、やけどの原因となることがあります。



※ 図は KZ-120SC-H です。

20. ワイヤレスアンテナ接続端子 A、B

ワイヤレスマイクを使用するときは、別売のワイヤレスアンテナをそれぞれの端子に1本ずつ取り付けてください。

ご注意

ワイヤレスアンテナを1本だけ取り付けて使用すると、ワイヤレスマイクの音声途切れたり通達距離が極端に短くなったりすることがあります。

メモ

ワイヤレスアンテナは、別売の 800 MHz 帯ワイヤレスシステム用のアンテナをお使いください。

21. AC 電源インレット

付属の電源コードを根元まで確実に差し込んでから、電源プラグをコンセントに接続してください。本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)へ容易に手が届くようにしてください。

22. 電源スイッチ

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

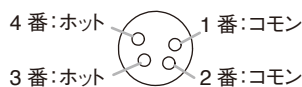
23. ライン出力端子

0 dB*1、5 kΩ、不平衡、ホーンジャック
他の放送設備を使って本機の信号を放送したいときは、この端子を他の設備のパワーアンプの入力端子に接続してください。

24. スピーカー出力端子 1、2
(KZ-120CD、KZ-120SCのみ、ローインピーダンス 4 ~ 8 Ω)

別売のスピーカー KZ-1200 または増設用スピーカー KZ-1200E を接続します。接続にはスピーカーに付属のスピーカーケーブルをお使いください。

4P コネクターの極性は下図のとおりです。



25. スピーカー出力端子 1、2
(KZ-120SC-Hのみ、ハイインピーダンス100系、端子カバー付)

ハイインピーダンスのスピーカーを接続する端子です。接続できるスピーカーのW数は、スピーカー出力端子1と2、それぞれ合計で120W以下です。

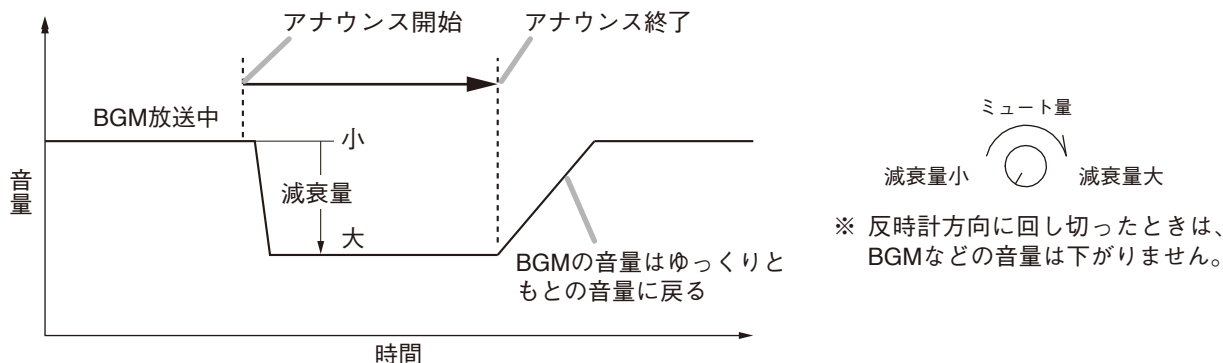
警告

スピーカーケーブルを接続したり、外したりするときは、電源スイッチを切ってから行ってください。また、配線後は端子カバーを取り付けてください。この端子には定格出力時に100Vの電圧がかかり、触れると感電の原因となります。

*1 0 dB = 1 V

■ ミュート量の調節

- KZ-120CD、KZ-120SC、KZ-120SC-H はミュート機能を持っています。有線マイクまたはワイヤレスマイクでアナウンスをすると、CD プレーヤー、SD/USB プレーヤー、Bluetooth 機器、および外部入力 of BGM などの音量を自動的に減衰させます。
- 減衰量は、ミュート量調節つまみで調節できます。時計回りに回すと減衰量が大きくなり、反時計回りに回すと減衰量が小さくなります。
- アナウンスが終わると、BGM などの音量は自動的にもとの音量になります。



■ 最適な音質に調節する (シーンモードスイッチ)

使用する状況 (シーン) に応じて最適な音質に調節することができます。設定できるシーンは次の4つです。

設定シーン	設定内容
標準	屋外で使用するときの設定で、音質の調節をしません。
屋内	屋内で使用する場合、音の反響が気になるときに設定します。
ダンス	高音と低音が強調されます。ダンス用の迫力ある再生音になります。
聞こえサポート	高齢者にも優しく聞き取りやすい音で拡声することができます。*

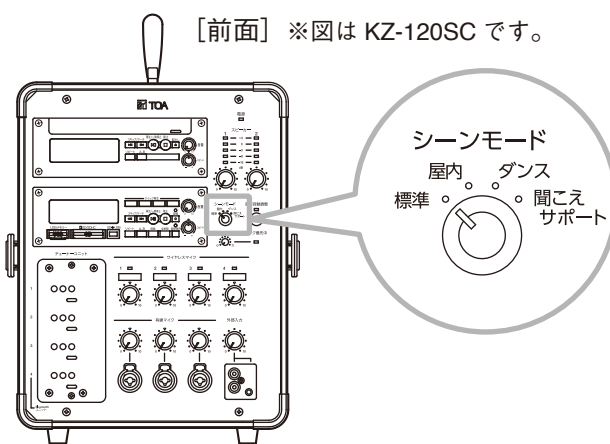
* 聞こえかたには個人差があり、すべての高齢者に効果があることを保証するものではありません。

● 設定のしかた

シーンモードスイッチを回して、スイッチを設定するシーン名に合わせます。

メ モ

曲の再生中など、本機で音声を出力しているときに、シーンモードスイッチを回すと、音声が 0.3 秒間途切れます。



■ 保護回路

KZ-120CD、KZ-120SC、KZ-120SC-H には、保護回路が内蔵されており、過負荷や誤接続のときなどに、出力の音量を強制的に下げて回路を保護します。

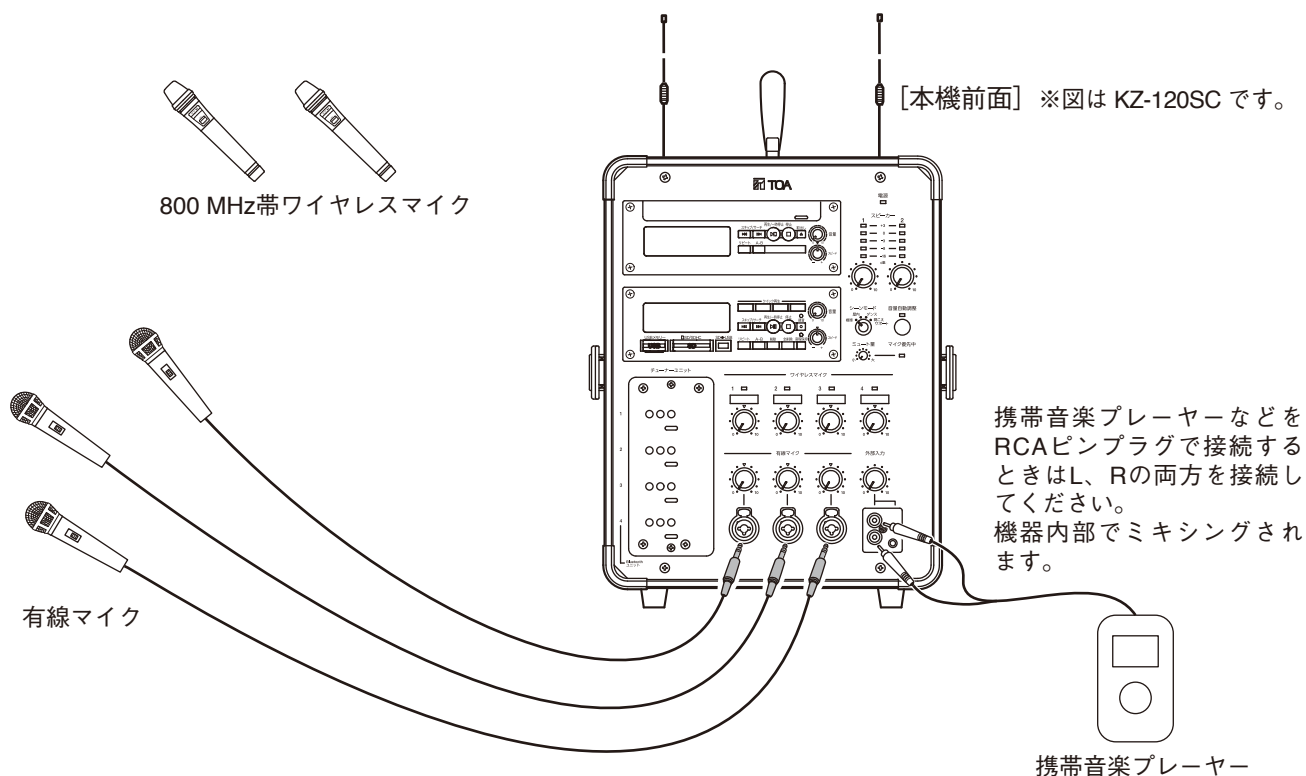
また、本機内部の温度が異常に上昇したときや、スピーカー出力表示灯がすべて点灯し続けるときは、出力を停止させて回路を保護します。

使用中に音が歪んだり、ワイヤレスマイクや Bluetooth 機器のデッドポイント以外で音が途切れたりするときは、接続の確認や風通しの良い場所への移動などをしてください。

接続を正しくやり直した場合、あるいは機器内部の温度が下がった場合には保護回路は自動復帰します。

接続・設置のしかた

■ 各種入力機器の接続



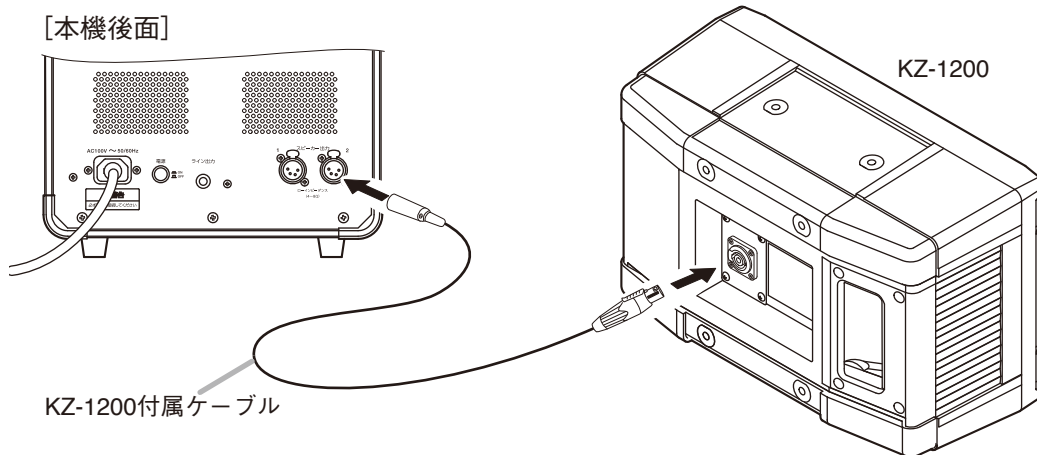
■ スピーカーの接続

● KZ-120CD、KZ-120SC の場合

ご注意

- 接続できるスピーカーは専用スピーカー（KZ-1200、KZ-1200E）のみです。
- 接続できる台数は各スピーカー出力端子に2台まで、合計4台までです。
- KZ-1200E に付属のスピーカーケーブルは、KZ-120CD、KZ-120SC のスピーカー出力端子には接続できません。

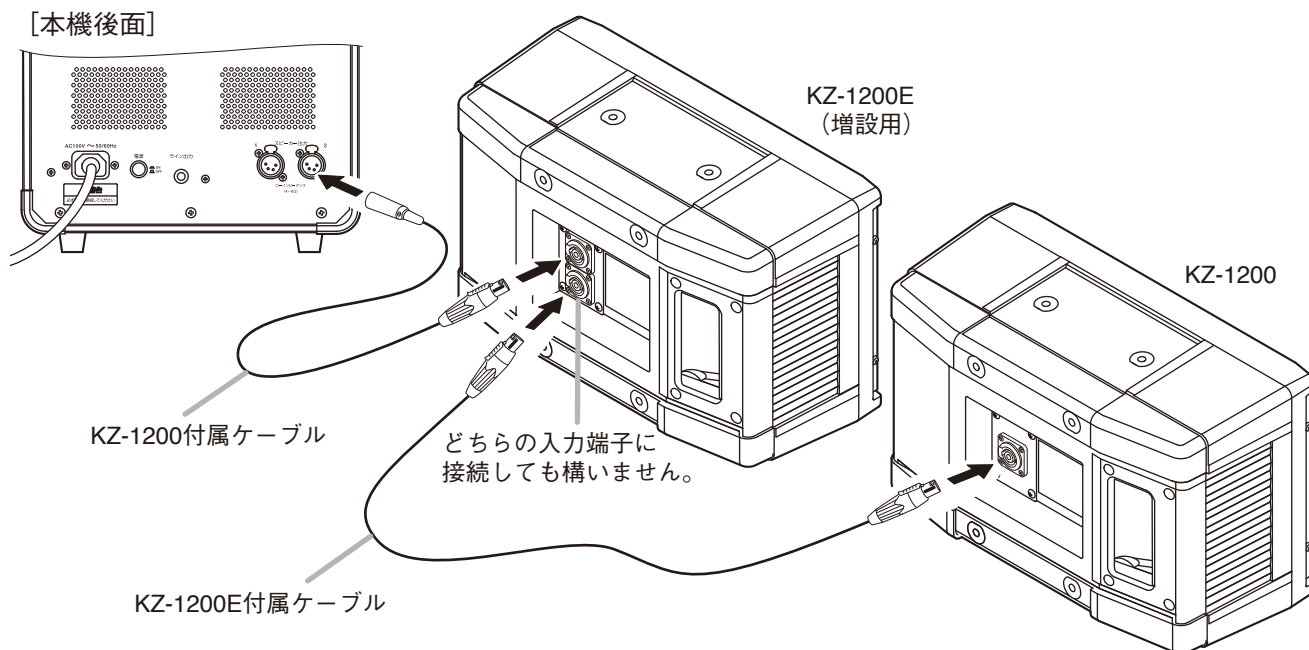
[アンプのスピーカー出力端子1つにつきスピーカーを1台接続するとき]



メモ

KZ-1200 の付属ケーブルは、KZ-120SC の両方のスピーカー出力端子に接続して、スピーカー2台で使用することもできます。

[アンプのスピーカー出力端子1つにつきスピーカーを2台接続するとき]



メモ

- KZ-1200E に接続するスピーカーケーブルは、KZ-1200E の後面にある2つの接続端子のどちらに接続してもかまいません。
- KZ-120CD、KZ-120SC それぞれ両方のスピーカー出力端子に接続して、スピーカー4台で使用することもできます。

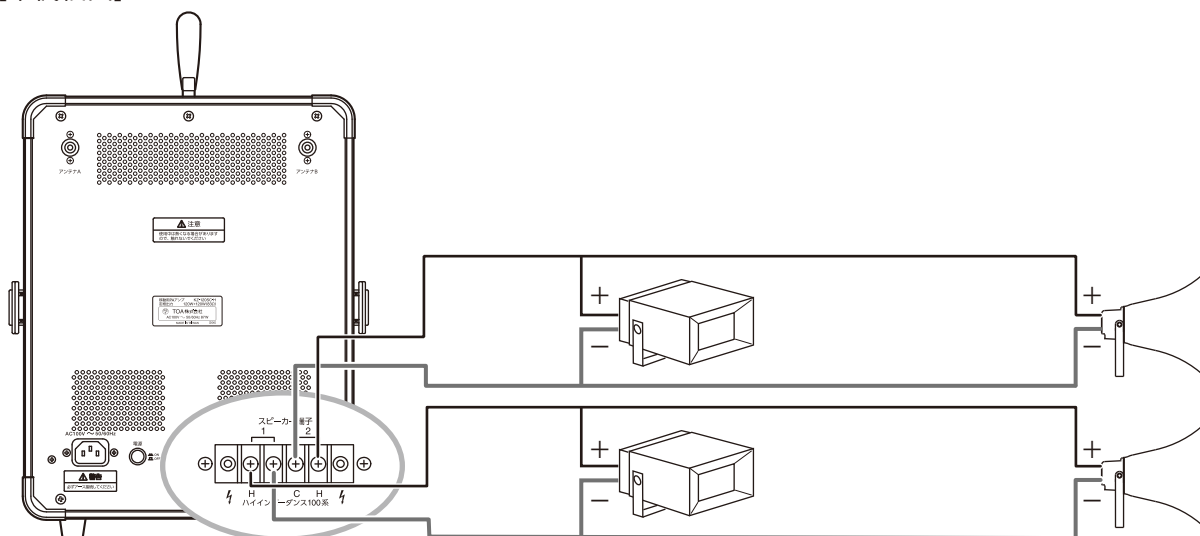
● KZ-120SC-H の場合

接続できるスピーカーの種類は、ハイインピーダンス 100 系です。

ご注意

スピーカー端子1、2それぞれに接続されるスピーカーのW数が120Wを超えないようにしてください。120Wを超えると、アンプが故障します。

[本機後面]



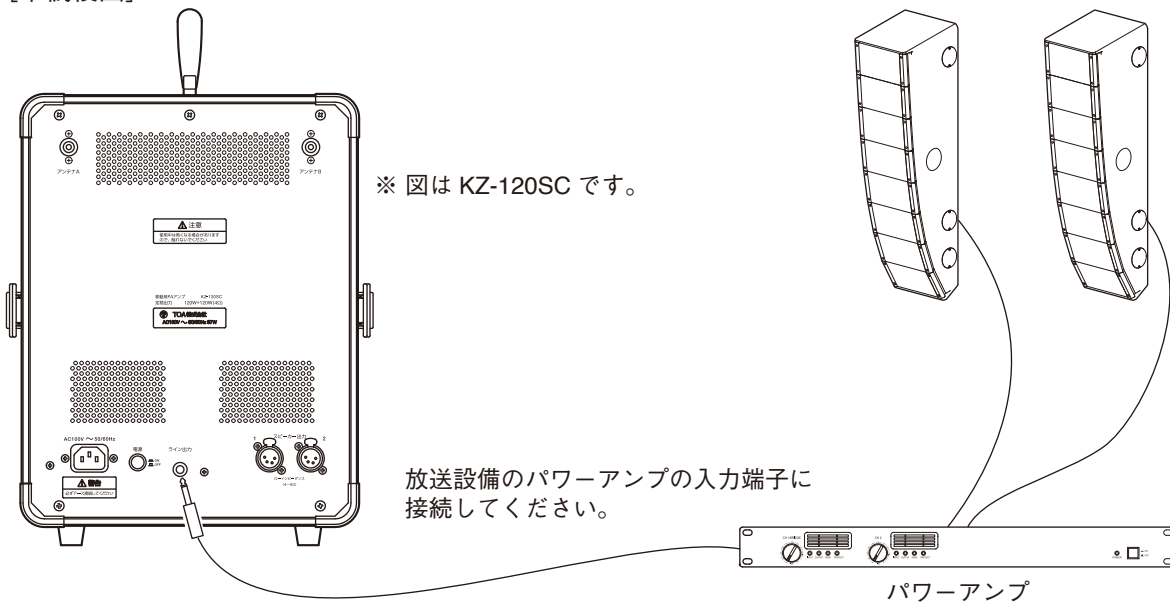
[使用できるスピーカーの例]

- 15 W スピーカー：ワイドホーンスピーカー CS-153、ホーンスピーカー SC-715M など
 - 30 W スピーカー：ワイドホーンスピーカー CS-303、ホーンスピーカー SC-730M など
- ※合計 W 数を 120 W 以内にしてください。

■ パワーアンプの接続

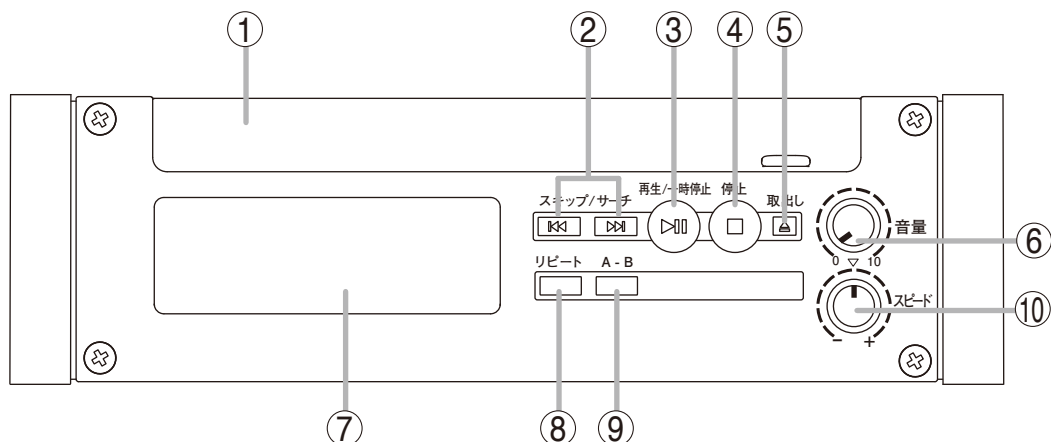
KZ-120CD、KZ-120SC、KZ-120SC-H を入力機器として使用するとき、スピーカーの音量は外部のパワーアンプで調節してください。

[本機後面]



CD プレーヤーユニットの使いかた

■ 各部の名称とはたらき



1. ディスク挿入口

CD 用防塵カバーを上げて、ディスクの印刷面（レーベル面）を上にして入れてください。自動的に収納し、読み込みが完了すると表示部に曲数とディスクに収録されている合計時間が表示され、CD 読み込み完了状態で待機します。

2. スキップ／サーチボタン [◀▶]

曲が 2 秒以上再生されてから ◀▶ ボタンを押すと、再生中の曲の頭にスキップします。曲の頭から 2 秒未満に押すと、1 つ前の曲の頭にスキップします。また、このボタンを押し続けると、早戻しになります。

▶▶ ボタンを押すと、次の曲の頭にスキップします。最後の曲で押すと、最初の曲の頭にスキップします。また、このボタンを押し続けると、早送りになります。

3. 再生／一時停止ボタン [▶||]

CD 読み込み完了後に押すと、1 曲目から再生を開始します。再生中に押すと、一時停止状態になります。また、一時停止状態で押すと、一時停止された位置から再生を再開します。

4. 停止ボタン [■]

再生中に停止ボタンを押すと再生中の曲を選曲して停止、再度停止ボタンを押すと 1 曲目を選択した状態になります。再度再生を開始すると、選曲された曲のはじめから再生を開始します。

5. 取り出しボタン [▲]

押すと、CD を排出します。再生中に押すと、いったん再生を停止してから CD を排出します。CD を排出するときは、CD 用防塵カバーを上げててください。

6. CD 音量つまみ

音量を調節します。つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

7. 表示部

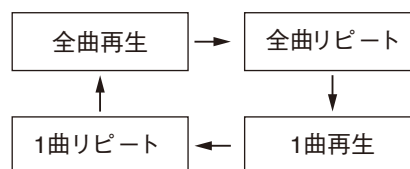
CD の内容、リピート再生状態などを表示します。

メ モ

省電力機能があり、何も操作をしない状態で約 5 分経つと、CD プレーヤーユニットの電源が切れます。再生／一時停止状態では、5 分経過後も CD プレーヤーユニットの電源が切れることはありません。

8. リピートボタン

押すごとにリピート状態が以下のように切り替わります。各リピート状態は、表示部 (7) に表示されます。



9. A-B リピートボタン [A-B]

A 地点から B 地点までをリピート再生します。再生中に押すと A 地点を記憶し、もう一度押すと B 地点を記憶します。A-B リピート再生中に、このボタンを押すと A-B リピートを解除します。

ご注意

曲開始から 1 秒経過するまでの再生区間に、A 地点、B 地点の設定はできません。

10. スピード調節つまみ

再生スピードの調節をします。つまみの指針が中央のときが標準スピードです。つまみを時計回り (+ 側) に回すとスピードは速くなり、反時計回り (- 側) に回すとスピードは遅くなります。スピードの調節範囲は約 -15 ~ 約 +20% です。

■ CD プレーヤーユニットをお使いになる前に

● 使用上のご注意



- 本機は **COMPACT DIGITAL AUDIO** のマークの CD と CD-R に対応しています。なお、CD-R は CD のメーカーによって反射率や書き込む機器などの違いで、再生できないものもありますので注意してください。
- CD-R はファイナライズを行ってからお使いください。ファイナライズされていない CD-R は正しく認識されないことがあります。
- 本機の CD プレーヤーユニットは 8 cm のシングル CD および 8 cm CD アダプターは使用できませんので、絶対に入れないでください。取り出しができなくなります。
- 温度の低い場所から急に高い場所に移動して使用すると、CD や光学部品に水滴が付いて（結露して）くもり、正常な動作をしない場合があります。
CD がくもっているときは、乾いたやわらかい布でふいてください。光学部品がくもっているときは、約 1 時間放置しておくくと自然にくもりが取れて正常に動作します。
- CD を出し入れするときは、ディスク挿入口に無理な力をかけないでください。本機の故障の原因となったり、CD に傷を付けたりすることがあります。
- 電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いたりするときに、CD を入れたままにしていると、CD を取り出せなくなります。
※ CD を取り出すときは、本機の電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れ、CD 用防塵カバーを上げてから CD プレーヤーの取り出しボタンを押してください。
- CD プレーヤーユニットは精密機器です。本機を移動するときは、必ず CD を取り出してください。
- CD プレーヤーユニットのディスクを読み取るピックアップ部とディスクを回転させるモーター部は有寿命部品です。再生しにくくなったときは、販売店に連絡してください。
- 本機の CD プレーヤーユニットは、MP3 ファイルと WMA ファイルを再生することができます。ファイル名の拡張子は半角でそれぞれ [.mp3]、[.wma] としてください。
- 再生可能なファイルの仕様は、次のとおりです。

		MP3	WMA *1
規格		MPEG-1 Audio Layer-3	Windows Media Audio Ver. 9 *2
サンプリング周波数		32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	44.1 kHz、48 kHz
ビットレート*3		32 k、40 k、48 k、56 k、64 k、80 k、96 k、112 k、128 k、160 k、192 k、224 k、256 k、320 kbps	48 k、64 k、96 k、128 k、160 k、192 kbps
最大再生時間		4 時間 15 分 59 秒	
チャンネル		モノラル、ステレオ、ジョイントステレオ、デュアル	モノラル、ステレオ
ファイル名の最大文字数		半角 32 文字または全角 16 文字	
タグ	規格	ID3 タグ Ver.2.2、2.3、2.4 *5	非対応
	表示する情報	タイトル名、アルバム名、アーティスト名	
	最大表示文字数	全角のみ、または半角のみの場合、50 文字*4	

*1 DRM（デジタル著作権管理）非対応

*2 WMA9 Professional / WMA9 Lossless 非対応

*3 上記対応ビットレートの範囲でVBR対応。ただし、可変ビットレート再生時に時間がずれることがあります。

*4 全角と半角が混在した場合は、最大文字数まで表示できないことがあります。

*5 ID3 タグとは、MP3 ファイルに音楽タイトルやアーティスト名などを書き込んだ情報のことです。市販のソフトウェアなどを使用して情報を書き込むことで、各タグに対応した機器などで情報を表示させることができます。

本機でも、タグ情報のうち、タイトル・アルバム名・アーティスト名を表示させることができます。

- 本機の CD プレーヤーユニットは、市販の CD（オーディオ CD）の場合のみギャップレス再生ができます。

● 音源ファイルの再生の順番

市販 CD（オーディオ CD）の場合	CD-R の場合
表示されている曲順で再生されます。	本機で再生したい音源ファイルを、パソコンで CD-R にコピーします。音源ファイルは CD-R 直下に置いてください。再生される順番は CD-R にコピーされた順番になります。

ご注意 音源ファイル名は、再生の順番とは関係ありません。

■ CD 再生のしかた

手順：CD 再生の前に、本機の電源を入れる。

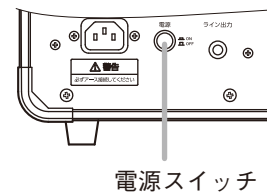
電源スイッチは、本機の後面にあります。

メモ

省電力機能があり、何も操作をしない状態で約5分経つと、CD プレーヤーユニットの電源が切れます。再生／一時停止状態では、5分経過後も CD プレーヤーユニットの電源が切れることはありません。

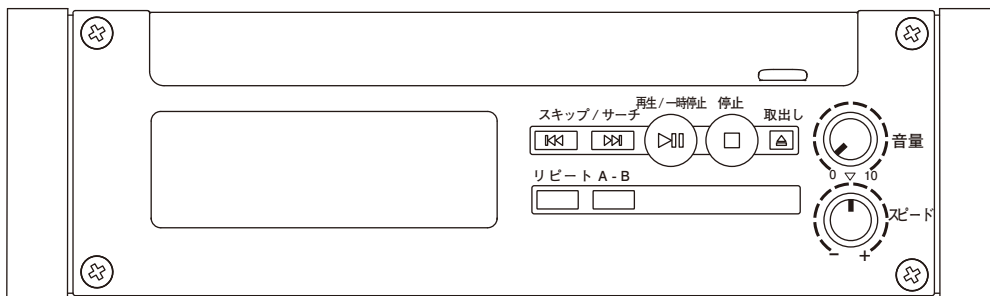
CD を挿入するか、CD 音量とスピード調節つまみ以外のボタンのいずれかを押すと、CD プレーヤーユニットの電源が入ります。

[後面]



● 通常再生をする

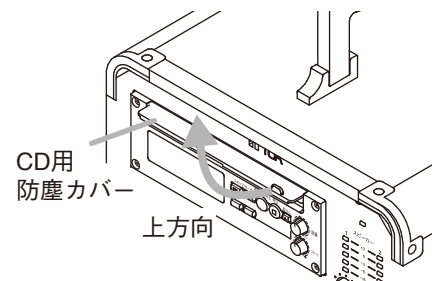
CD プレーヤーユニット



1 CD をディスク挿入口に入れる。

CD 用防塵カバーをあげてディスクの印刷面（レーベル面）を上にして入れてください。自動的に収納し、表示部に「CD 読み込み中...」が表示され読み込みをします。

CD 読み込み中...



メモ

読み込み可能な曲数は最大 999 曲です。

ご注意

- 非対応の CD を入れると次のようなメッセージが表示され、再生できません。

! CD 読み込み不可

- MP3 ファイル、WMA ファイルを収録した CD-R の場合は、読み込みに 30 秒以上かかることがあります。

読み込みが完了すると、表示部に 3 秒間以下の内容を表示します。

(例：全 15 曲、全曲の合計演奏時間 1 時間 14 分 24 秒)

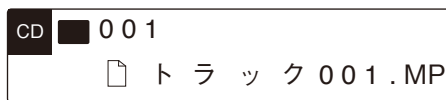
CD 015TR 1:14:24

ご注意

MP3 ファイル、WMA ファイルを収録した CD-R の場合は全演奏時間は表示されません。



3秒経つと停止中の表示になります。
表示部に音源データのファイル名が表示されます。



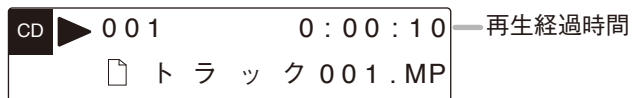
2 再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。

1曲目から再生を開始します。

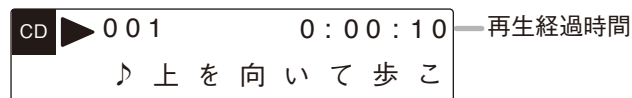
表示部に音源データのファイル名が表示されます。

MP3ファイルの入った音源データの場合、表示部にID3タグ情報（タイトル、アルバム名、アーティスト名）が、ファイル名と交互に表示されます。

ファイル名表示時



ID3タグ情報表示時



ご注意

- タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示させるためには、ID3タグ（ID3v2）へ情報を書き込んでおく必要があります。
- タイトル、アルバム名、アーティスト名、ファイル名の最大表示文字数は50文字です。
- 全角と半角が混在した場合は、最大文字数まで表示できないことがあります。

メモ

音源ファイルの再生順は、P.16のとおりになります。

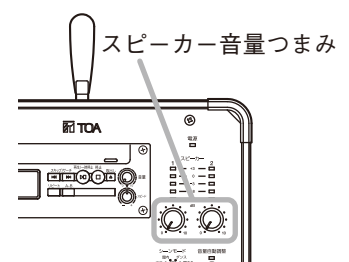
3 CD音量つまみを12時の位置に合わせる。

4 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、CD音量つまみを時計回りに回して調節してください。



5 再生途中で一時停止するとき、再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。

一時停止状態になります。

※ 再び再生するとき、再生／一時停止ボタンをもう一度押してください。

ご注意

一時停止中にスキップ／サーチボタンを押すと、次のようにスキップしたのち、再生を開始します。

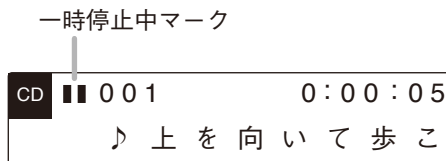
◀◀ボタンを押した場合： 再生開始後2秒未満のとき、1つ前の曲の頭にスキップします。

再生開始後2秒以上のとき、再生中の曲の頭にスキップします。



▶▶ボタンを押した場合： 次の曲の頭にスキップします。

メ モ

一時停止中は、表示部に次のように表示され、一時停止中マークと曲情報が点滅します。



6 再生途中で別の曲にスキップするとき、スキップ／サーチボタン (◀◀、▶▶) を押す。

前の曲へスキップするとき	◀◀を押す	再生開始後2秒未満に押したとき	1つ前の曲の頭にスキップします。 ※ 最初の曲で押した場合は、最後の曲の頭にスキップします。
		再生開始後2秒以上経ってから押したとき	再生中の曲の頭にスキップします。
		押し続けたとき	早戻しになります。 早戻し中マーク 
次の曲へスキップするとき	▶▶を押す	最後の曲以外で押したとき	次の曲の頭へスキップします。
		最後の曲で押したとき	最初の曲の頭にスキップします。
		押し続けたとき	早送りになります。 早送り中マーク 

ご注意

- 早戻し、早送りの速度は音源ファイルの種類や長さにより変わります。
- 音源ファイルによっては早戻し中に再生中の曲の頭にスキップしたり、早送り中に次の曲の頭にスキップしたりすることがあります。

7 再生を止めるときは、停止ボタン (■) を押す。

再生を停止して、再生していた曲を選曲した状態になります。

● 1 曲再生をする



1 CD をディスク挿入口に入れる。
(P. 17)

2 スキップ/サーチボタン (◀◀、▶▶) で1 曲再生したい曲を選択する。

3 リピートボタンを何度か押して「1 曲再生」を選択する。
表示部左下に次のような1 曲再生マークが表示されます。



1 曲再生マーク

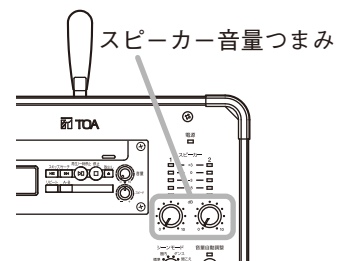
4 再生/一時停止ボタン (▶||) を押す。
選択した曲を1 回再生して、再生中の選曲した状態で停止します。

5 CD 音量つまみを12 時の位置に合わせる。

6 スピーカー音量つまみで音量を調節する。
つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、CD 音量つまみを時計回りに回して調節してください。

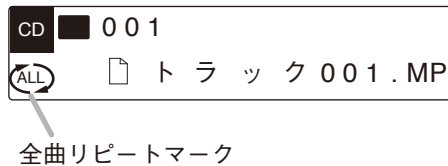


● 全曲リピート再生をする



1 CD をディスク挿入口に入れる。
(P. 17)

2 リPEAT ボタンを何度か押して「全曲リピート」を選択する。
表示部左下に次のような全曲リピートマークが表示されます。



3 再生 / 一時停止ボタン (▶||) を押す。
全曲を繰り返し再生します。

メ モ

- 再生を中止したいときは、停止ボタンを押します。
- リPEAT 回数に上限はありません。停止ボタンを押すまで再生を繰り返します。

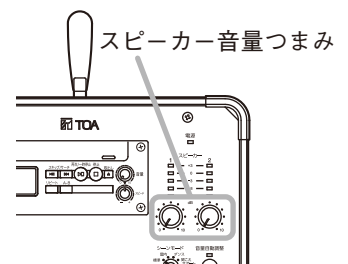
4 CD 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

5 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メ モ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、CD 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



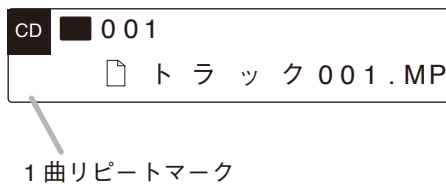
● 1 曲リピート再生をする



1 CD をディスク挿入口に入れる。
(P. 17)

2 スキップ／サーチボタンでリピート再生したい曲を選択する。

3 リピートボタンを何度か押して「1 曲リピート」を選択する。
表示部左下に次のような 1 曲リピートマークが表示されます。



4 再生／一時停止ボタンを押す。
選択した曲を繰り返し再生します。

メモ

- 再生を中止したいときは、停止ボタンを押します。
- リピート回数に上限はありません。停止ボタンを押すまで再生を繰り返します。

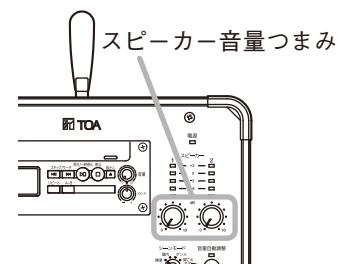
5 CD 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

6 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、CD 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



● A-B リpeat再生をする

任意の A 地点と B 地点間を繰り返して演奏します。

ご注意

- A、B の設定は 1 曲中の連続した 1 区間だけです。
- A-B リpeatを解除するには、A-B リpeat再生中に A-B リpeatボタンを押してください。(通常の再生状態に戻ります。)



1 CD をディスク挿入口に入れる。
(P. 17)

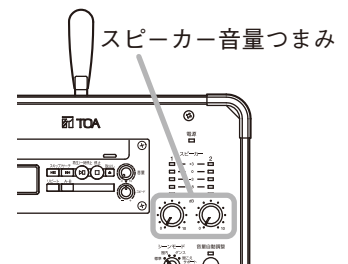
2 再生/一時停止ボタン (▶||) を押す。
必要に応じてスキップ/サーチボタンで曲を選択します。
(P. 19)

3 CD 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

4 スピーカー音量つまみで音量を調節する。
つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

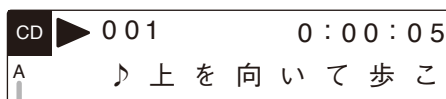
メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、CD 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



5 任意の A 地点を設定する。

A-B リpeatボタンを押します。A 地点が設定され、表示部に次のような A 地点設定マークが表示されます。



A 地点設定マーク

ご注意 A 地点設定後は、A-B リpeat設定を解除するまでは、早戻し・早送りができません。

6 任意の B 地点を設定する。

A 地点を設定後、リピート再生を終了させたい所で、もう一度 A-B リピートボタンを押します。B 地点が設定され、A 地点に戻り、A-B 間の再生を繰り返します。表示部は次のような A-B 間設定マークが表示されます。



A-B 間設定マーク

[設定例]

3 曲目の A から B までを繰り返して再生します。



ご注意 B 地点から A 地点に戻るときの時間は音源ファイルの種類により異なります。

7 再生を止めるときは、停止ボタン (■) を押す。

再生を停止して、再生中の曲を選曲した状態になります。

メ モ

再生を止めると、A-B 間の設定は解除されます。

● 演奏スピードを変える

本機の CD プレーヤーユニットは、再生スピードを調節することができます。ダンスの練習のときなどに、音楽のスピード変えて拡声できます。



1 CD を再生状態にする。 (P. 17 「通常再生をする」)

メ モ

スピード調節は、どの演奏状態でもできます。

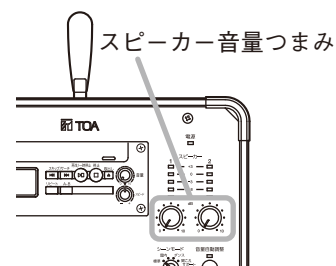
2 CD 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

3 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、CD 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



4 スピード調節つまみで演奏スピードを調節する。

調節の範囲は、約 -15% ~ 約 +20% です。

メモ

再生スピードを調節してから再生状態にすることもできます。

■ エラー表示一覧

表示	説明	原因
❗ CD 未 挿 入	CD を挿入していない状態です。	CD が挿入されていない。
❗ CD 読 み 込 み 不 可	CD 挿入時に CD からデータの読み出しが行えなかった場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ CD-R がファイナライズされていない。 ・ CD の不良 ・ CD 以外のメディア (DVD など) が挿入されている。
❗ 再 生 不 可	選曲した音源ファイルからデータの読み出しが正常に行えなかった場合に表示されます。 メモ 正常な CD でもこの表示が出ることがあります。もう一度、ディスクを出し入れしてみてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音源ファイル (MP3、WMA) が壊れている。 ・ 音源のサンプリング周波数、ビットレートが対応外。 ・ CD の不良
❗ 異 常 が 発 生 し ま し た	本機が正常に動作できなくなった場合に表示されます。 このエラーが発生した場合は、当社営業所までご連絡ください。	ファームウェアが正常に起動できなかった。

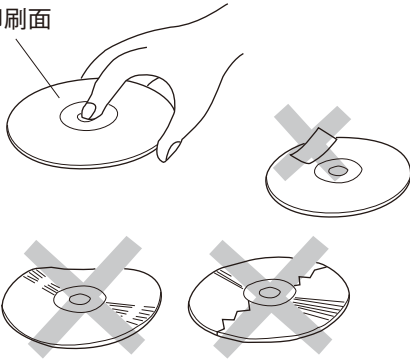
■ コンパクトディスクの取り扱いかた

コンパクトディスクの汚れ、ごみ、傷、そりなどが音飛びや音質の低下など誤動作の原因となることがあります。美しい音で楽しめるよう次のことにご注意ください。

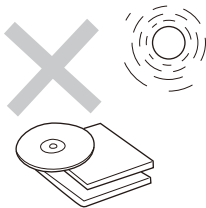


左記マークの付いているコンパクトディスクおよび書き込み済みの CD-R をご使用ください。

印刷面



- ディスクを持つときは、演奏面をできるだけさわらないようにしてください。
- 印刷面や演奏面に、紙やシールなどを貼り付けたり傷を付けたりしないようにしてください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたりしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり本機が故障したりする原因となることがあります。
- 演奏中のディスクは高速回転しますので、ひびの入ったディスクや大きくそったディスクは使用しないでください。



- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車の中などは、かなり高温になりますので放置しないでください。
- CD-R に書き込まれたものは特に直射日光に当てないように保管してください。



- 使用する前に演奏面に付いたほこり、ごみ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- レコードクリーナー、帯電防止剤などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

● 12 cm CD と 8 cm CD について

コンパクトディスクには、直径の大きさにより 12 cm タイプと 8 cm タイプの 2 種類があります。本機では、8 cm CD および 8 cm CD アダプターは使用できません。

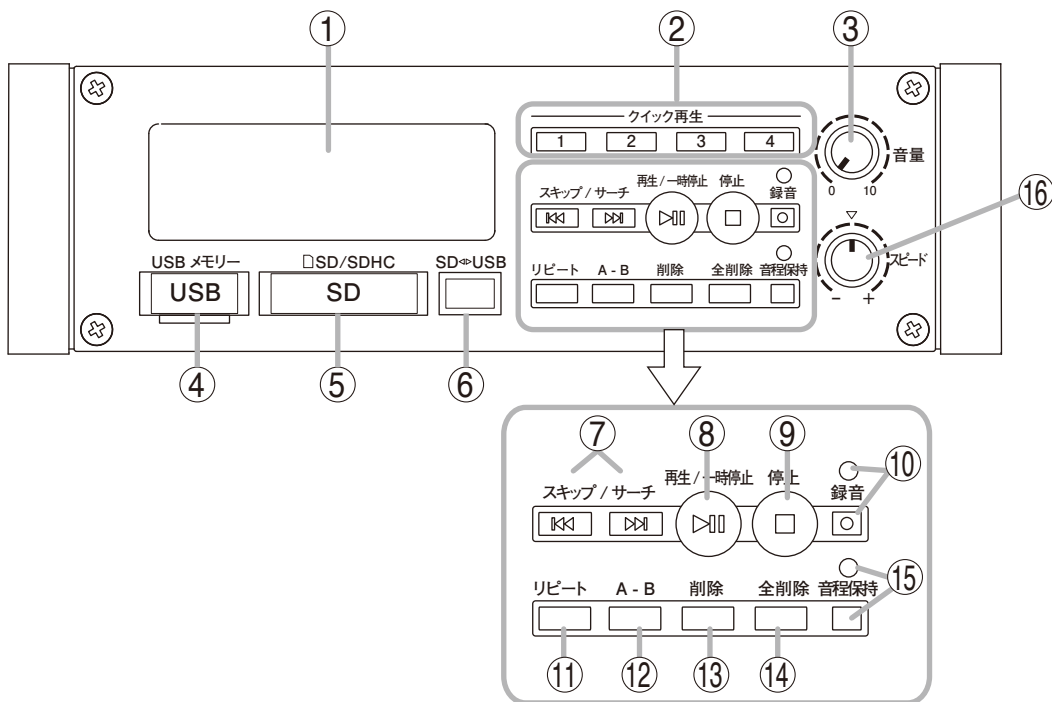
8 cm CD および 8 cm CD アダプターを挿入すると、取り出しができなくなることがあります。

- 市販のレンズクリーナーディスクは使用しないでください。

SD/USB プレーヤーユニットの使いかた

(KZ-120SC、KZ-120SC-H のみ)

■ 各部の名称とはたらき



1. 表示部

選択中の音源メディアの内容、リピート再生状態などを表示します。

メ モ

省電力機能があり、何も操作をしない状態で約5分経つと、SD/USB プレーヤーユニットの電源が切れます。録音/再生/一時停止状態では、5分経過後もSD/USB プレーヤーユニットの電源が切れることはありません。

2. クイック再生ボタン

特定の曲を登録しておき、ワンタッチで再生します。
(▶▶ P. 35 「クイック再生をする」)

3. SD/USB 音量つまみ

音量を調節します。つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

4. USB メモリー挿入口

防塵キャップを外し、USBメモリーの表面を上にして、奥まで挿入してください。
(使用できるSDカード、USBメモリー ▶▶ P. 28)

ご注意

防塵キャップは本機からは取り外せません。

5. SDカード挿入口 [SD/SDHC]

防塵キャップを外し、カードのラベル面を上にして、奥まで挿入してください。
(使用できるSDカード、USBメモリー ▶▶ P. 28)

ご注意

防塵キャップは本機からは取り外せません。

6. SD/USB 切換ボタン

押すごとにSDカードとUSBメモリーが切り換わります。

7. スキップ/サーチボタン [◀◀, ▶▶]

曲が2秒以上再生されてから◀◀ボタンを押すと、再生中の曲の頭にスキップします。曲の頭から2秒未満に押し続けると、1つ前の曲の頭にスキップします。また、このボタンを押し続けると、早戻しになります。

▶▶ボタンを押すと、次の曲の頭にスキップします。最後の曲で押し続けると、最初の曲の頭にスキップします。また、このボタンを押し続けると、早送りになります。

8. 再生/一時停止ボタン [▶▶]

読み込み完了状態のときに押し続けると、1曲目から再生を開始します。再生中に押し続けると、一時停止状態になります。また、一時停止状態で押し続けると、一時停止された位置から再生を再開します。

9. 停止ボタン [■]

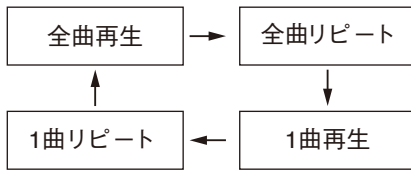
再生中に停止ボタンを押すと再生中の曲を選曲して停止、再度停止ボタンを押すと1曲目を選択した状態になります。再度再生を開始すると、選曲された曲のはじめから再生を開始します。

10. 録音ボタン、録音表示灯

拡声している音声を録音します。押すと録音を開始します。このとき、録音表示灯が点灯します。録音フォーマットはMP3のみです。サンプリング周波数は48 kHz、ビットレートは128 kbpsです。

11. リPEATボタン

押すごとにリPEAT状態が以下のように切り換わります。各リPEAT状態は、表示部 (1) に表示されます。



12. A-B リPEATボタン [A-B]

A地点からB地点までをリPEAT再生ます。再生中に押すとA地点を記憶し、もう一度押すとB地点を記憶ます。

A-BリPEAT再生中に、このボタンを押すとA-BリPEATを解除ます。

(P.40「A-BリPEAT再生をます」)

ご注意

- 曲終了から1秒手前までの再生区間に、A地点、B地点の設定はできません。
- A-BリPEATを解除すると、音が途切れる場合があります。

13. 削除ボタン

不要な曲を削除ます。
(P.45「削除する」)

14. 全削除ボタン

USBメモリーまたはSDカードに記録されているすべての曲および情報を削除ます。
(P.46「[全曲を削除する場合]」)

15. 音程保持ボタン、音程保持中表示灯

押すと、スピード調節つまみ (16) で再生スピードを調節していても、音程は変わらずに元々の音程で再生まされます。動作中は音程保持中表示灯が点灯ます。

ご注意

再生中に音程保持ボタンを押すと、再生音にノイズがのることがあります。

16. スピード調節つまみ

再生スピードの調節まします。つまみの指針が中央のときが標準スピードです。つまみを時計回り (+側) に回すとスピードは速くなり、反時計回り (-側) に回すとスピードは遅くなります。スピードの調節範囲は約 -15 ~ 約 +20% です。

SD/USB プレーヤーユニットをお使いになる前に

● 使用上のご注意

- USBには、USBメモリーのみを接続してください。他のUSB機器を接続すると、故障の原因となります。
- 音源メディアに記録した音源データは必ずパソコンにバックアップをしておいてください。本機の故障や誤操作により、データが失われる可能性があります。
- ギャップレス再生には対応していません。
- 屋外での使用時などは各メディア挿入口へほこりが入らないよう、設置場所や取り扱いに注意してください。
- SDカード、USBメモリーを抜き差しするときは、挿入口に無理な力をかけないでください。本機の故障の原因となったり、音源メディアに傷を付けたりすることがあります。
- SD/USBプレーヤーユニットは精密機器です。本機を移動させるときは、必ずSD/SDHCカードとUSBメモリーを取り出してください。挿入したまま移動させると、本機の故障や音源メディアの破損の原因となります。
- ほこりや異物などが入らないよう、使用しないメディア挿入口には、必ず防塵キャップを装着してください。

● 使用できるSDカード、USBメモリー

- 容量32GBまでのSD/SDHCカードとUSBメモリーが使用できます。
 - ・どちらも消費電流が100mA以下のものを使用してください。
 - ・USBメモリーは、USB2.0のみ使用可能です。
- mini SDカード、micro SDカードは使用できません。
- 音源メディアは本機で使用する前に、パソコンで一度初期化したものをお使いください。初期化するときの条件は以下のとおりです。
 - ファイルシステム : FAT16 または FAT32
 - アロケーションユニットサイズ : 4キロバイト以上



SD/SDHC ロゴは登録商標です。

- 本機の SD/USB プレーヤーユニットは MP3 ファイルと WMA ファイルを再生できます。ファイル名の拡張子は半角でそれぞれ [.mp3]、[.wma] としてください。再生可能なファイルの仕様は、次のとおりです。

		MP3	WMA *1
規格		MPEG-1 Audio Layer-3	Windows Media Audio Ver. 9 *2
サンプリング周波数		32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	44.1 kHz、48 kHz
ビットレート*3		32 k、40 k、48 k、56 k、64 k、80 k、96 k、112 k、128 k、160 k、192 k、224 k、256 k、320 kbps	48 k、64 k、96 k、128 k、160 k、192 kbps
チャンネル		モノラル、ステレオ、ジョイントステレオ、デュアル	モノラル、ステレオ
ファイルサイズ		2 GB 以内 (ファイルサイズが 2 GB を超える音源は、2 GB 分のデータまでしか再生できません。)	
フォルダ名 / ファイル名の最大文字数		半角 32 文字または全角 16 文字	
フォルダー階層		最大 8 階層	
タグ	規格	ID3 タグ Ver.2.2、2.3、2.4 *5	WMA タグ*5
	表示する情報	タイトル、アルバム名、アーティスト名	タイトル、アルバム名、アーティスト名
	最大表示文字数	全角のみ、または半角のみの場合、50 文字*4	

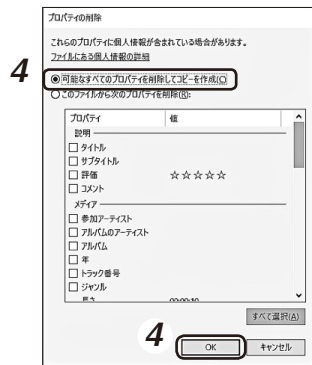
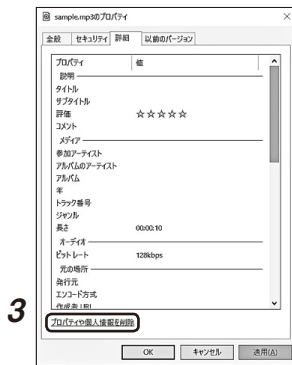
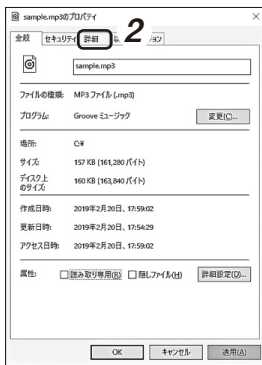
- *1 DRM (デジタル著作権管理) 非対応
- *2 WMA9 Professional / WMA9 Lossless 非対応
- *3 上記対応ビットレートの範囲で VBR 対応。ただし、可変ビットレート再生時に時間がずれることがあります。
- *4 全角と半角が混在した場合は、最大文字数まで表示できないことがあります。
- *5 ID3 タグ・WMA タグとは、MP3 ファイルや WMA ファイルに音楽タイトルやアーティスト名などを書き込んだ情報のことです。市販のソフトウェアなどを使用して情報を書き込むことで、各タグに対応した機器などで情報を表示させることができます。本機でも、タグ情報のうち、タイトル・アルバム名・アーティスト名を表示させることができます。上記のタグ以外は、本機では非対応です。

ご注意

- 上記条件に合致したものでも、SD カード、USB メモリーの特性、記録状態などにより、本機では使用できないことがあります。
- 市販のソフトウェアなどを使用して音源ファイルの再生・編集などをした場合、その過程で無効なタグ情報が書き込まれてしまい、本機で音源ファイルが選曲できなくなることがあります。そのときは、例えば下記のように、パソコンを使用して、音源ファイルのタグ情報を削除してからご使用ください。

[タグ情報の削除手順例 (Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 を使用して削除する場合)]

1. 音源ファイルを選択し、右クリックしてプロパティを選択する。
2. 「詳細」タブをクリックする。
3. 「プロパティや個人情報」を削除する。
4. 「可能なすべてのプロパティを削除してコピーを作成 (C)」を選択し、OK ボタンをクリックする。



5. タグ情報を削除した音源ファイルのコピーが作成されたら、適宜ファイル名を変更し、コピーされた音源ファイルの本機で使用する。
6. タグ情報の種類によっては、上記の手順で削除できないことがあります。上記の手順でタグ情報を削除した音源ファイルを使用してもうまくいかないときは、市販のソフトウェアなどでタグ情報を削除してください。

無効なタグ情報が残っているコピー元の音源ファイルは、本機では使用しないでください。

● 音源ファイルの再生の順番

本機で再生したい音源ファイルを、パソコンで SD カード / USB メモリーにコピーします。
音源ファイルが再生される順番は次のとおりです。SD カード / USB メモリー内の音源ファイル保存場所により決まります。
再生される順番で曲が割り当てられます。

1. SD カード / USB メモリー直下にコピーされた音源ファイル
2. SD カード / USB メモリー内に作成されたフォルダーにコピーされた音源ファイル
3. 本機で録音された音源ファイル

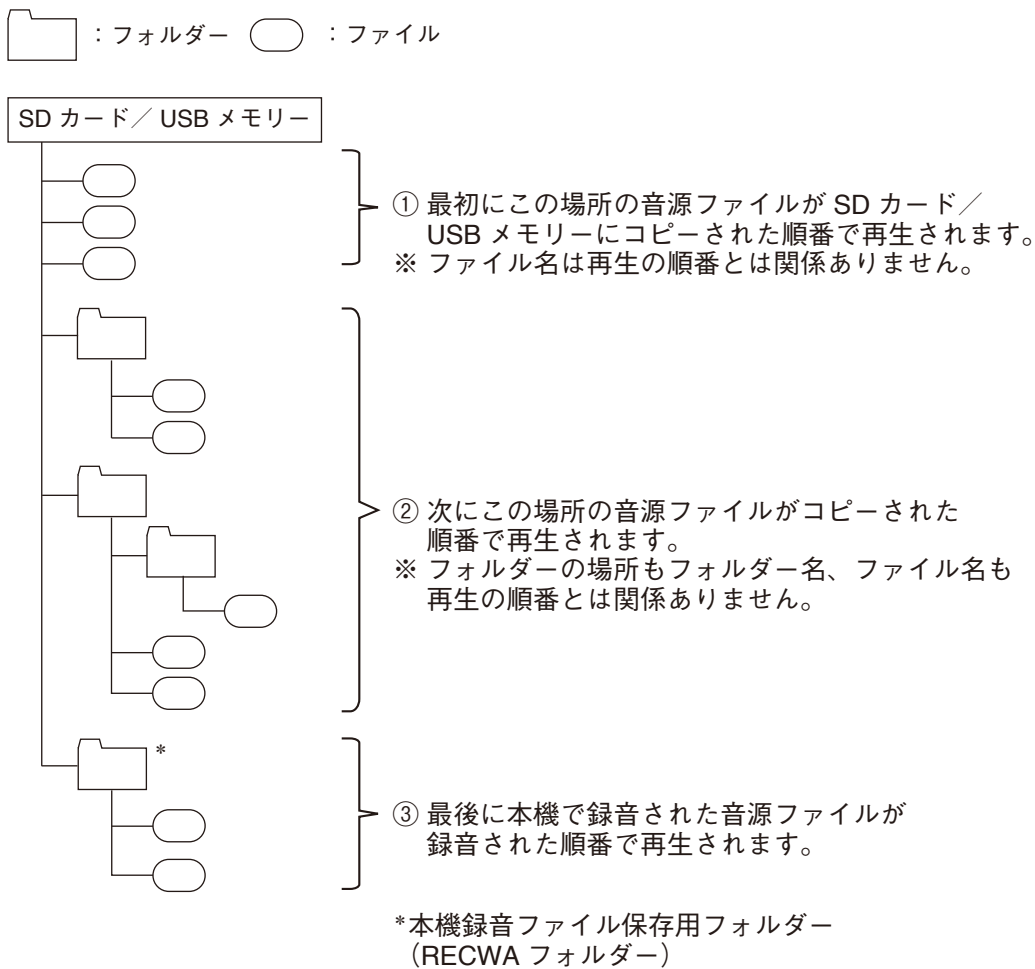
SD カード / USB メモリー直下の音源ファイルが優先して再生されます。
通常、音源ファイルは SD カード / USB メモリー直下に置いてください。再生される順番は SD カード / USB メモリーにコピーされた順番になります。

ご注意

音源ファイル名は、再生の順番とは関係ありません。

本機で録音されたファイルは、特定の保存用フォルダー（RECWA フォルダー）に保存されます。再生される順番は他の音源ファイルの後になります。

順番を図示すると、次のとおりになります。

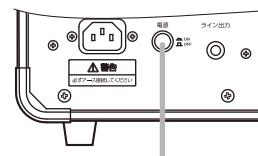


■ SD カード / USB メモリー再生と録音のしかた

手順：SD カード / USB メモリー再生または録音の前に、本機の電源を入れる。

電源スイッチは、本機の後面にあります。

[後面]



電源スイッチ

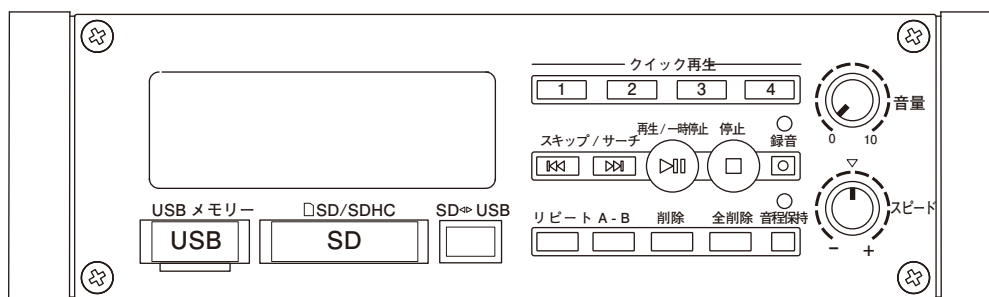
メモ

省電力機能があり、何も操作をしない状態で約5分経つと、SD/USB プレーヤーユニットの電源が切れます。録音 / 再生 / 一時停止状態では、5分経過後も SD/USB プレーヤーユニットの電源が切れることはありません。

SD カードまたは USB メモリーを抜き差しするか、クイック再生ボタン、スキップ / サーチボタン、再生 / 一時停止ボタン、停止ボタンのいずれかを押しすと SD/USB プレーヤーユニットの電源が入ります。

● 通常再生をする

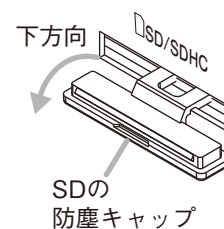
SD/USB プレーヤーユニット



1 音源メディアを本機に挿入する。

1-1 音源メディアが SD カードの場合

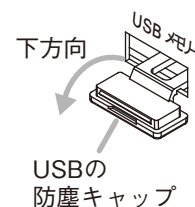
防塵キャップを外し、カードのラベル面を上にして、SD カード挿入口に入れ、奥まで差し込んでください。



SDの防塵キャップ

1-2 音源メディアが USB メモリーの場合

防塵キャップを外し、USB メモリーの表面を上にして、USB メモリー挿入口に入れ、奥まで差し込んでください。



USBの防塵キャップ



2 SD/USB 切換ボタンで、使用する音源メディアを選択する。

SD/USB 切換ボタンを押すごとに、SD カードと USB メモリーが切り換わります。

挿入された音源メディアを選択すると、音源メディアに応じて「SD 読み込み中」または「USB 読み込み中」と表示され、選択した音源メディアの読み込みを開始します。

USB メモリーを選択した場合

U S B 読 み 込 み 中 . . .

メモ

読み込み可能な曲数は最大 999 曲です。そのうち本機で録音した曲は最大 99 曲で、その他の曲は最大 900 曲です。

ご注意

- パソコンで初期化した直後のメディアは読み込みに時間がかかることがあります。
- 非対応のメディアを挿入すると、表示部に「SD 読み込み不可」または「USB 読み込み不可」と表示され、読み込みできません。

USB メモリーが読み込みできない場合

! U S B 読 み 込 み 不 可

読み込みが完了すると、表示部に 3 秒間以下の内容を表示します。

(例：USB メモリー選択中、11 曲のとき)

メディアの種類

USB 0 1 1 T R

全曲数

3 秒後に停止中の表示になります。

ID3 タグ情報表示時 (曲名の表示例)

USB 0 0 1

♪ か ご め か ご め

ファイル名表示時

USB 0 0 1

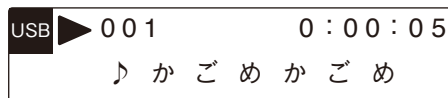
📄 ト ラ ッ ク 0 0 1 . M P

3 再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。

1 曲目から演奏を開始します。

表示部に音源データのファイル名が表示されます。

MP3 ファイルの入った音源データの場合、表示部に ID3 タグ情報（タイトル、アルバム名、アーティスト名）が、ファイル名と交互に表示されます。



※ 再生経過時間が 100 時間以上になった場合、表示は「99:59:59」のままで「:」のみが点滅します。

ご注意

- タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示させるためには、ID3 タグ (ID3v2) または WMA タグ情報を書き込んでおく必要があります。
- ファイルサイズが 2 GB を超える音源は、2 GB 分のデータまでしか再生できません。

メ モ

音源ファイルの再生順は P. 30 のとおりになります。

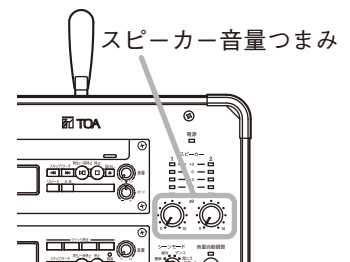
4 SD/USB 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

5 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メ モ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



6 再生途中で一時停止するときは、再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。

一時停止状態になります。

※ 再び再生するときは、再生／一時停止ボタンをもう一度押してください。

ご注意

一時停止中にスキップ／サーチボタンを押すと、次のようにスキップしたのち、再生を開始します。

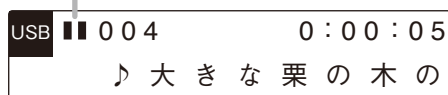
◀◀ ボタンを押した場合： 再生開始後 2 秒未満のとき、1 つ前の曲の頭にスキップします。
再生開始後 2 秒以上のとき、再生中の曲の頭にスキップします。

▶▶ ボタンを押した場合： 次の曲の頭にスキップします。


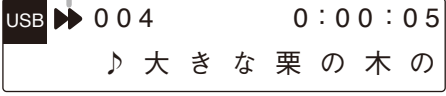
メ モ

一時停止中は、表示部に次のように表示され、一時停止中マークと曲情報が点滅します。

一時停止中マーク



7 再生途中で別の曲にスキップするときは、スキップ／サーチボタン (◀◀、▶▶) を押す。

前の曲へスキップするとき	◀◀ を押す	再生開始後 2 秒未満に押したとき	1 つ前の曲の頭にスキップします。 ※ 最初の曲で押した場合は、最後の曲の頭にスキップします。
		再生開始後 2 秒以上経ってから押したとき	再生中の曲の頭にスキップします。
		押し続けたとき	早戻しになります。 早戻し中マーク 
次の曲へスキップするとき	▶▶ を押す	最後の曲以外で押したとき	次の曲の頭へスキップします。
		最後の曲で押したとき	最初の曲の頭へスキップします。
		押し続けたとき	早送りになります。 早送り中マーク 

8 再生を止めるときは、停止ボタン (■) を押す。 再生を停止して、再生中の曲を選曲した状態に戻ります。

● クイック再生をする

[クイック再生をする曲の登録のしかた]

クイック再生ボタンに特定の曲を登録しておく、その曲がワンタッチで再生できます。クイック再生ボタンは4つあり、それぞれのボタンに1曲ずつ登録できます。



1 スキップ/サーチボタン (◀、▶) を押して登録したい曲を選択する。

メ モ

再生している (再生中、一時停止中) 曲を登録することもできます。

2 クイック再生ボタンを3秒以上押す。

押したクイック再生ボタンに曲が登録されます。

メ モ

登録した曲を変更したいときは、上記の手順を再度行います。後で登録した曲が登録されます。

ご注意

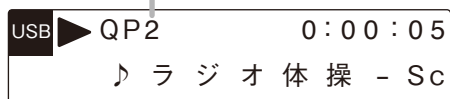
- 登録した後に音源メディアをパソコンで編集すると登録が解除されることがあります。そのときは、再度登録してください。
- 次の場合は登録ができません。
 - ・音源メディアに登録情報を書き込む容量がない場合
 - ・SDカードがロックされている場合



1 任意のクイック再生ボタンを押す。

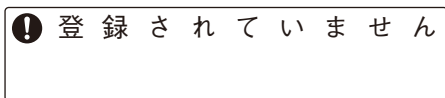
押したクイック再生ボタンに登録した曲が再生されます。
クイック再生中は、表示部に次のようなクイック再生マークが表示されます。

(2番のクイック再生ボタンを押したとき)
クイック再生マーク



メモ

- 押したクイック再生ボタンに曲が登録されていない場合、次のように表示されます。



- 初回 (1回も登録を行っていないメディアの場合) は、クイック再生ボタン1~4を押すと、それぞれ曲1~4が再生されます。

ご注意

クイック再生中はリピートの設定はできません。

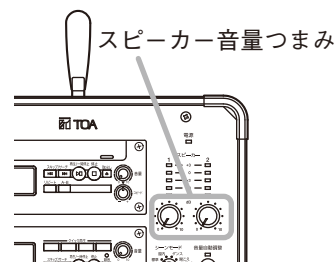
2 SD/USB 音量つまみを 12時の位置に合わせる。

3 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



4 再生を止めるときは、停止ボタン (■) を押す。

再生を停止して、クイック再生ボタンを押す直前に選択していた曲を、選曲した状態で停止します。

● 1 曲再生をする

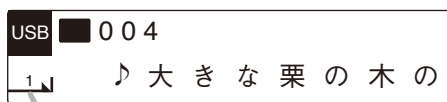


1 音源メディアを本機に挿入する。
(P. 31)

2 SD/USB 切換ボタンで使用する音源メディアを選択する。

3 スキップ/サーチボタン (◀◀、▶▶) で再生したい曲を選択する。

4 リピートボタンを何度か押して「1 曲再生」を選択する。
表示部左下に次のような 1 曲再生マークが表示されます。



1 曲再生マーク

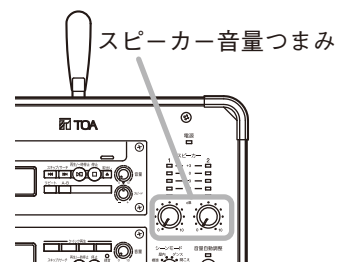
5 再生/一時停止ボタン (▶||) を押す。
選択した曲を 1 回再生して、再生中の曲を選曲した状態で停止します。

6 SD/USB 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

7 スピーカー音量つまみで音量を調節する。
つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



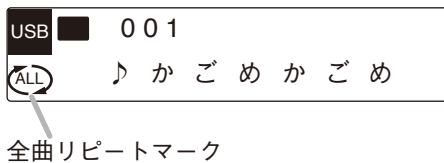
● 全曲リピート再生をする



1 音源メディアを本機に挿入する。
(P. 31)

2 SD/USB 切換ボタンで使用する音源メディアを選択する。

3 リピートボタンを何度か押して「全曲リピート」を選択する。
表示部左下に次のような全曲リピートマークが表示されます。



4 再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。
全曲を繰り返し再生します。

メモ

- 再生を中止したいときは、停止ボタンを押します。
- リピート回数に上限はありません。停止ボタンを押すまで再生を繰り返します。

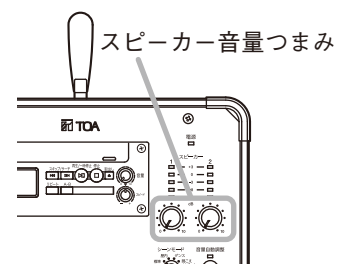
5 SD/USB 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

6 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB 音量つまみを時計回りに回して調節してください。

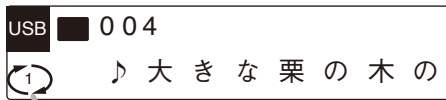


● 1 曲リピート再生をする



- 1 音源メディアを本機に挿入する。
(P. 31)
- 2 SD/USB 切換ボタンで使用する音源メディアを選択する。
- 3 スキップ/サーチボタン (◀◀、▶▶) でリピート再生したい曲を選択する。

- 4 リピートボタンを何度か押して「1 曲リピート」を選択する。
表示部左下に次のような 1 曲リピートマークが表示されます。



1 曲リピートマーク

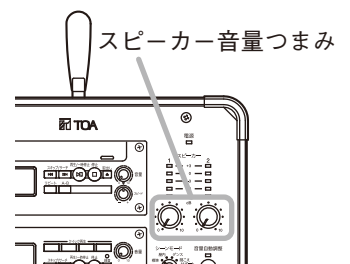
- 5 再生/一時停止ボタン (▶||) を押す。
選択した曲を繰り返し再生します。
- メ モ
- 再生を中止したいときは、停止ボタンを押します。
 - リピート回数に上限はありません。停止ボタンを押すまで再生を繰り返します。

- 6 SD/USB 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

- 7 スピーカー音量つまみで音量を調節する。
つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メ モ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



● A-B リpeat再生をする

任意の A 地点と B 地点間を繰り返して再生します。

ご注意

- A、B の設定は 1 曲中の連続した 1 区間だけで設定できます。
- A-B リpeat再生中に A-B リpeatボタンを押すと、A-B リpeatが解除されます。(通常の再生状態に戻ります。)
- 曲終了から 1 秒手前までの再生区間に、A、B の設定はできません。
- A-B リpeatを解除すると、音が途切れる場合があります。



1 音源メディアを本機に挿入する
(P. 31)

2 SD/USB 切替ボタンで使用する音源メディアを選択する。

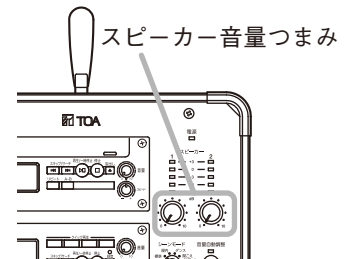
3 再生/一時停止ボタン (▶||) を押す。
必要に応じてスキップ/サーチボタンで曲を選択します。
(P. 34)

4 SD/USB 音量つまみを 12 時の位置に合わせる。

5 スピーカー音量つまみで音量を調節する。
つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

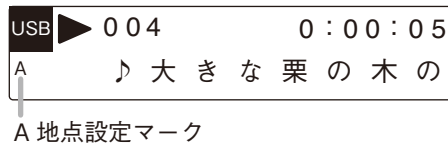
メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB 音量つまみを時計回りに回して調節してください。



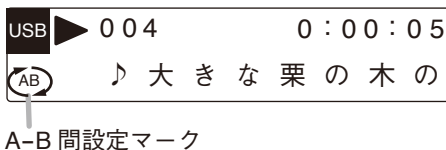
6 任意の A 地点を設定する。

再生中に、リピート再生を開始させたい所で A-B リピートボタンを押します。
A 地点が設定され、表示部に次のような A 地点設定マークが表示されます。



7 任意の B 地点を設定する。

A 地点を設定後、リピート再生を終了させたい所で、もう一度 A-B リピートボタンを押します。
B 地点が設定され、A 地点に戻り、A-B 間の再生を繰り返します。
表示部は次のような A-B 間設定マークが表示されます。



[設定例]

3 曲目の A から B までを繰り返して演奏します。



メモ

A-B リピートを解除するには、A-B リピート再生中に A-B リピートボタンを押してください。(通常の再生状態に戻ります。)

8 再生を止めるときは、停止ボタン (■) を押す。

その曲を選曲した状態で停止します。

メモ

- リピート回数に上限はありません。停止ボタンを押すまで再生を繰り返します。
- 演奏を止めると、A-B 間の設定は解除されます。

● 再生スピードを変える

本機のSD/USBプレーヤーユニットは、再生スピードを調節することができます。ダンスの練習のときなどに、音楽のスピードを変えて拡声できます。

また、再生中に、スピードを変更しても音程を変化させずに再生することもできます。会議を録音した音源を音程を変化させずに早聞きしたいときなどに便利です。



- 1 SDカードまたはUSBメモリーを再生状態にする。
(P.31「通常再生をする」)

メモ

スピード調節は、どの再生状態でもできます。

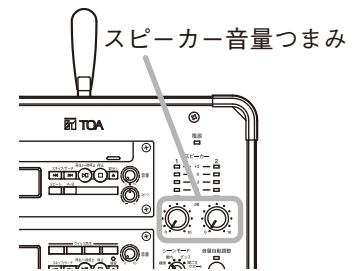
- 2 SD/USB音量つまみを12時の位置に合わせる。

- 3 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

つまみを時計回りに回すと音が大きくなり、反時計回りに回すと音が小さくなります。

メモ

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、SD/USB音量つまみを時計回りに回して調節してください。



- 4 スピード調節つまみで再生スピードを調節する。

調節の範囲は、約-15%～約+20%です。

メモ

再生スピードを調節してから再生状態にすることもできます。

- 5 音程を変化させずに再生したい場合は、音程保持ボタンを押す。

音程保持中表示灯が点灯し、音源ファイルが音程を変化させずに再生されます。

メモ

スピードに応じた音の高さに戻すときは、もう一度音程保持ボタンを押します。

● 録音する

このSD/USBユニットには、自動録音レベル調整機能が内蔵されていますので、録音レベルの調節は不要です。

ご注意

- 入力されている音がすべてミキシングされて録音されます。
- 入力音源の内容や音量の設定によってはノイズが生じることがあります。気になるときは、お使いのマイクや外部音源などの音量を、本機の音量つまみで上げてください。

本機で拡声している音声をSDカードまたはUSBメモリーに録音保存できます。
保存場所はSDカードまたはUSBメモリー直下の「RECWA フォルダー」(P. 30)です。

録音される音源ファイルの仕様と音源ファイル名は次のとおりです。

- ・仕様
録音フォーマット : MP3 (モノラル形式)
サンプリング周波数 : 48 kHz
ビットレート : 128 kbps
最大ファイルサイズ : 2 GB (約 34 時間)
- ・ファイル名
音源ファイル名は次のとおりに自動で付加されます。
音源ファイル名 : REC01.mp3
固定
自動付加 (01 ~ 99 まで)
固定



1 音源メディアを本機に挿入する。
(P. 31)

2 SD/USB 切換ボタンで使用する音源メディアを選択する。

3 録音ボタンを押す。

録音を開始します。

録音中は、録音表示灯が点灯します。また、表示部に次のような録音中マーク、録音経過時間、録音可能時間、音源ファイル名が表示されます。



※ 録音可能時間の表示は、音源メディアの残容量にかかわらず最大で約 34 時間 (2 GB で録音できる時間) です。

ご注意

- 次の場合、表示部に次のように表示され、録音できません。
 - ・ 音源メディアの容量がなくなっている場合
 - ・ 本機で録音した音源ファイルがすでに 99 個ある場合

❗ 容量が足りません

その場合は、新しい音源メディアを使用するか、不要な音源ファイルを削除してください。
(▶ P. 45 「削除する」)

- SD カードがロックされている場合、表示部に次のように表示され、録音できません。

❗ S D が ロ ッ ク 中

ロックの解除方法は SD カードの取扱説明書をお読みください。

- 1 回の録音での最長時間は約 34 時間です。
録音を開始してから最長時間が経過すると音源メディアの容量は残っていても録音は自動的に停止します。続けて録音したいときは、もう一度録音ボタンを押してください。

重要

録音中は絶対に音源メディアを抜きとったり、電源スイッチを切ったりしないでください。
壊れた音源ファイルが作成されたり、音源ファイルが消失したりします。
壊れた音源ファイルがある状態で全曲再生や全曲リピート再生を行うと、壊れた音源ファイルの再生時に再生不可となり、表示部に次のように表示され、再生が停止します。

❗ 再生不可

その場合は、再生不可のファイルを削除してください。(▶ P. 45 「削除する」)

4 録音途中で一時停止するときは、再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。

録音一時停止状態になります。

※ 再び録音するときは、再生／一時停止ボタン、または録音ボタンを押してください。

メ モ

一時停止中は、表示部に次のように表示され、一時停止中マーク、ファイル名が点滅します。

一時停止中マーク

USB	■■ 021	0 : 00 : 10
	REC04 .mp3	- 02 : 34 : 46

5 録音を止めるときは、停止ボタン (■) を押します。

録音した音源を選曲した状態で停止します。

重要

停止ボタンを押した後、表示部に次のように表示されている間は、絶対に音源メディアを抜きとったり、電源スイッチを切ったりしないでください。

録音書込中...

この表示の間は、録音を停止した音源ファイルの登録処理をしています。

電源スイッチを切ると登録処理が中断し、登録処理中の音源ファイルが消失します。また、本機の動作中に停電になった場合も同様です。

● 削除する

音源メディア内の不要になった音源ファイルを削除できます。

音源メディアの録音ができなくなった場合などに、不要な音源ファイルを削除すると、音楽メディアの空き容量が大きくなり、録音できるようになる場合があります。



[1 曲を削除する場合]

1 スキップ／サーチボタン (◀◀、▶▶) を押して削除したい曲を選択する。

メモ

演奏している (再生中、一時停止中) 曲を削除することもできます。

2 削除ボタンを押す。

表示部に、次のような削除確認メッセージが表示されます。

削除したい曲番号

008 曲目を削除？
はい ▶▶ いいえ ■

メモ

この表示が出てから、10 秒間ボタン操作をしないと、停止状態に戻ります。

ご注意

SD カードがロックされていると表示部に次のように 3 秒間表示され、手順 1 の状態に戻ります。

❗ S D が ロ ッ ク 中

その場合は、SD カードのロックを解除してください。

ロックの解除方法は SD カードの取扱説明書をお読みください。

3 10秒以内に再生／一時停止ボタン (▶||) を押す。

削除が開始されます。

削除中は表示部に次のように表示されます。

削除中の曲番号

008 曲目を削除中
USBを抜かないでく

ご注意

この表示の間は、音源メディアを抜かないでください。

削除が完了すると次のように表示されます。

008 曲目を削除完了

[削除を中止するとき]

手順2の後、10秒以内に停止ボタン (■) を押してください。

停止状態に戻ります。

メモ

削除に失敗すると次のように3秒間表示されます。

❗ 削除失敗

次の原因が考えられます。

- ・削除しようとしている音源ファイルが読取専用になっている。
- ・音源ファイルが壊れている。
- ・削除中にSDカード、USBメモリーを取り外した。

上記の場合は、本機で音源ファイルを削除することはできません。パソコンで削除してください。削除のしかたはパソコンの取扱説明書をお読みください。

[全曲を削除する場合]

ご注意

USBメモリーまたはSDカードに記録されているすべての曲および情報を削除します。



1 停止中に全削除ボタンを押す。

表示部に、次のような削除確認メッセージが表示されます。

全曲削除？
はい ▶|| いいえ ■

メモ この表示が出てから、10秒間ボタン操作をしないと停止状態に戻ります。

ご注意

SD カードがロックされていると表示部に次のように 3 秒間表示され、手順 1 の状態に戻ります。

❗ S D が ロ ッ ク 中

その場合は、SD カードのロックを解除してください。
ロックの解除方法は SD カードの取扱説明書をお読みください。

2 10 秒以内に再生／一時停止キー (▶||) を押す。

表示部に次のような全曲削除の最終確認メッセージが表示されます。

全 曲 削 除 実 行 ？ ？
は い ▶|| い い え ■

[削除を中止するとき]

手順 1 の後または上の表示が出てから、10 秒以内に停止ボタン (■) を押してください。停止状態に戻ります。

また、上の表示後、10 秒間ボタン操作をしない場合も、削除は中止となり、停止状態に戻ります。

3 10 秒以内にもう一度再生／一時停止キー (▶||) を押す。

全曲削除が開始されます。

全曲削除中は表示部に次のように表示されます。

全 曲 削 除 中 . . .
U S B を 抜 か な い で く

ご注意

この表示の間は、音源メディアを抜かないでください。

削除が完了すると次の画面が 3 秒間表示され、演奏停止状態になります。

全 曲 削 除 完 了

メモ

全曲削除に失敗すると次のように 3 秒間表示され、演奏停止状態になります。

❗ 全 曲 削 除 失 敗

次の原因が考えられます。

- ・削除しようとしている音源ファイルが読み取り専用になっている。
- ・音源ファイルが壊れている。
- ・削除中に SD カード、USB メモリーを取り外した。

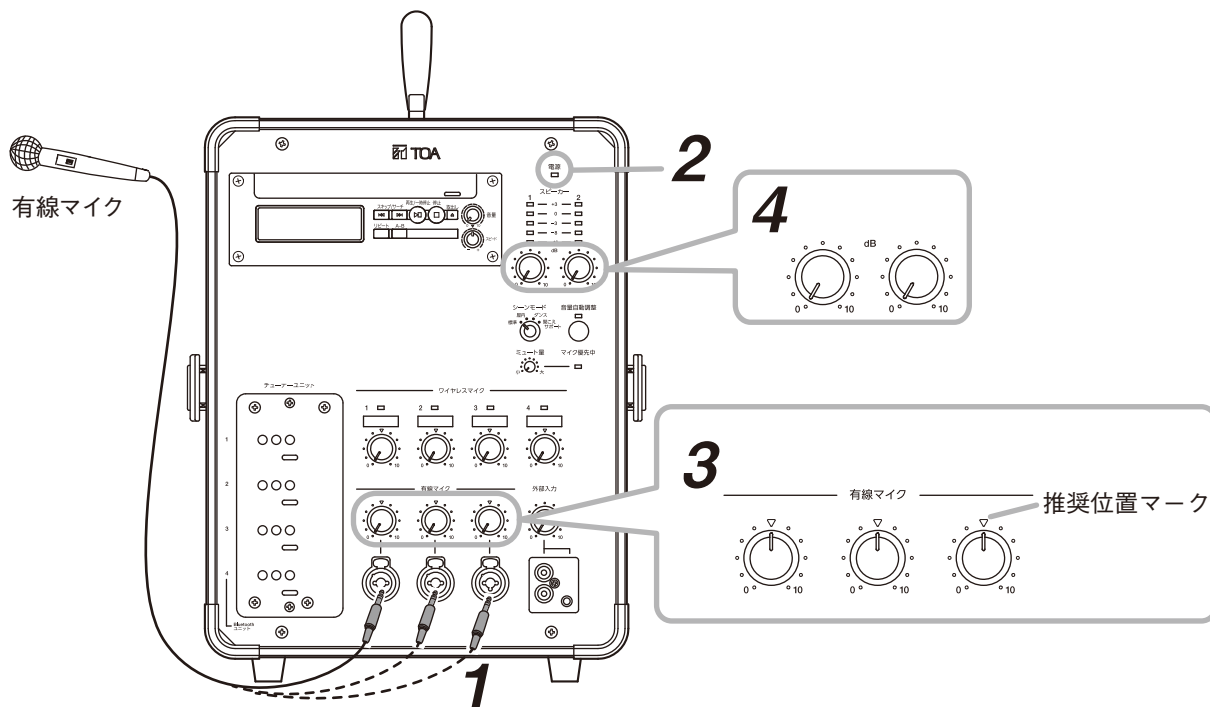
この場合は、本機でこの音楽メディアを使用することはできません。パソコンで音楽メディアの初期化をしてください。

操作のしかたはパソコンの取扱説明書をお読みください。

■ エラー表示一覧

表示	説明	原因
❗ S D / U S B 未 挿 入	SD カード、USB メモリーを挿入していない状態です。	SD カード、USB メモリーが挿入されていない。
❗ S D 読 み 込 み 不 可	SD カード挿入時に SD カードからデータの読み出しが行えなかった場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> SD カードが指定のフォーマット (P. 28) で初期化されていない。 SD カードの不良、または未対応品を使用している。
❗ U S B 読 み 込 み 不 可	USB メモリー挿入時に USB メモリーからデータの読み出しが行えなかった場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> FAT16 または FAT32 以外で、もしくはアロケーションユニットサイズが 4 キロバイト未満で、初期化されている。 USB メモリーの不良、または未対応品を使用している。
❗ 再 生 不 可	選曲した音源ファイルからデータの読み出しが正常に行えなかった場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 音源ファイル (MP3、WMA) が壊れている。 音源のサンプリング周波数、ビットレートが対応外。 音源ファイルのサイズが 2 GB を超え、かつ 2 GB 分のデータを超えて再生しようとした。 SD カード、USB メモリーの不良 本機では非対応のタグ情報が含まれている。(P. 29)
❗ 登 録 さ れ て い ま せ ン	該当のクイック再生ボタンに音源が登録されていない場合に表示されます。	クイック再生ボタンに音源が登録されていない。
❗ 削 除 失 敗	1 曲削除に失敗した場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 削除しようとしている音源ファイルが読み取り専用になっている。 音源ファイル (MP3、WMA) が壊れている。 削除中に SD カード、USB メモリーを取り外した。
❗ 全 曲 削 除 失 敗	全曲削除に失敗した場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 削除しようとしている音源ファイルが読み取り専用になっている。 音源ファイル (MP3、WMA) が壊れている。 削除中に SD カード、USB メモリーを取り外した。
❗ S D が ロ ッ ク 中	SD カードが書き込み禁止状態になっていることを表示します。	SD カードが書き込み禁止状態になっていて、書き込みができなかった。
❗ 容 量 が 足 り ま せ ン	SD カード、USB メモリーの空き容量がないことを表示します。	<ul style="list-style-type: none"> SD カード、USB メモリーの空き容量がない。 本機で録音した音源ファイルが 99 曲すでに存在する。
❗ 異 常 が 発 生 し ま し た	本機が正常に動作できなくなった場合に表示されます。 このエラーが発生した場合は、当社営業所までご連絡ください。	本機のファームウェア以外の部分が故障した。
フ ァ ー ム ウ ェ ア 異 常 停 止 し ま し た	本機が正常に動作できなくなった場合に表示されます。 このエラーが発生した場合は、当社営業所までご連絡ください。	本機のファームウェアに異常が発生した。

有線マイクの使いかた



ご注意

- 有線マイクを接続するときは、必ず電源を切り、すべての音量つまみを反時計回りに回し切ってください。
 - 本機は有線マイク入力信号などに対して働くゲート機能*を搭載しており、有線マイクの入力信号が小さい場合に音声が途切れることがあります。そのときは、有線マイク音量つまみを時計回りに回して推奨位置より音量を大きくして、全体の音量をスピーカー音量つまみで調節してください。
- * 入力信号レベルに応じて入力信号を通過させたり、減衰またはカットする機能。

1 有線マイクをマイク1、マイク2、またはマイク3の入力端子に接続する。

2 後面の電源スイッチを入れ、前面の電源表示灯が点灯していることを確かめる。

3 有線マイク音量つまみを推奨位置マーク(▽)の位置に合わせる。

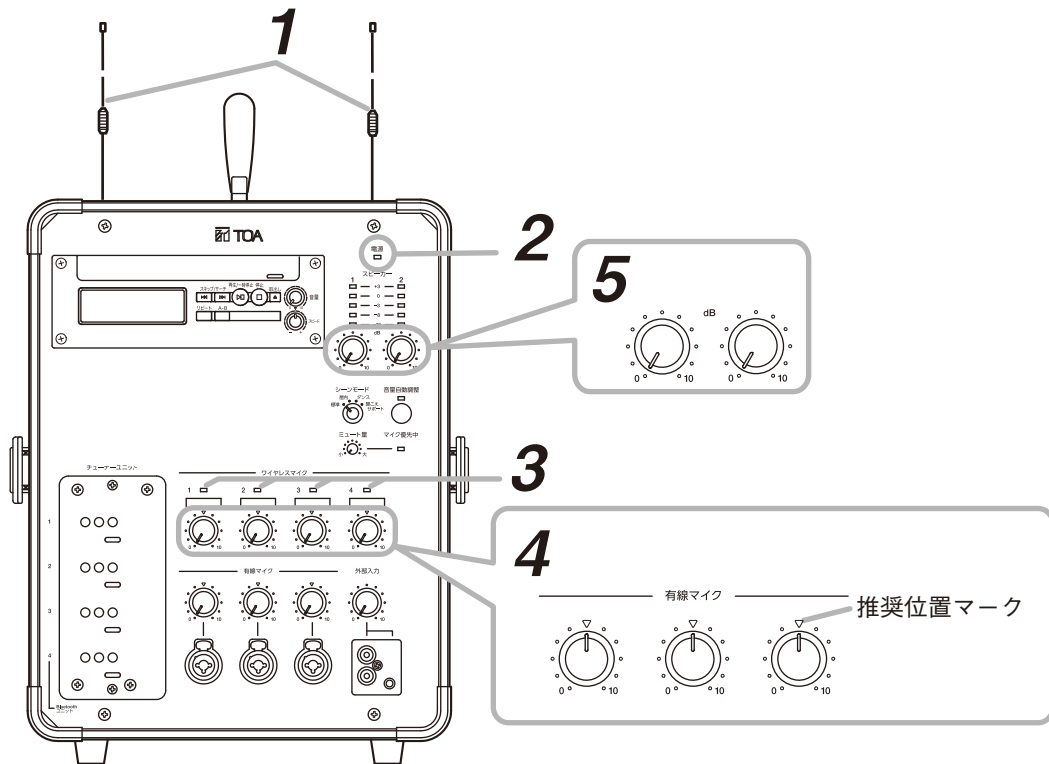
4 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

スピーカー音量つまみ1、2で全マイクのみキシング音量を調節します。

メモ

スピーカー音量つまみを時計回りに回し切っても音量が不足する場合は、有線マイク音量つまみを時計回りに回して調節します。

ワイヤレスマイクの使いかた



ご注意

- ワイヤレスアンテナを接続するときは、必ず電源を切ってください。また、下記手順の前にワイヤレスマイクの電源を切り、すべての音量つまみを反時計回りに回し切ってください。
 - 本機はワイヤレスマイク入力信号などに対して働くゲート機能*を搭載しており、ワイヤレスマイクの入力信号が小さい場合に音声が途切れることがあります。そのときは、ワイヤレスマイク音量つまみを時計回りに回して推奨位置より音量を大きくして、全体の音量をスピーカー音量つまみで調節してください。
- * 入力信号レベルに応じて入力信号を通過させたり、減衰またはカットする機能。

1 別売のアンテナ2本を後面のワイヤレスアンテナ接続端子に取り付ける。

※ それぞれの端子に1本ずつ取り付けてください。

× モ

ワイヤレスアンテナは、別売の800 MHz帯ワイヤレスシステム用のアンテナをお使いください。

2 後面の電源スイッチを入れ、前面の電源表示灯が点灯していることを確かめる。

3 別売のワイヤレスマイクの電源スイッチを入れる。 ワイヤレス受信表示灯が点灯します。

4 ワイヤレスマイク音量つまみを推奨位置マーク(▽)の位置に合わせる。

ワイヤレス受信表示灯が点灯したワイヤレスマイク音量つまみでマイクの音量を調節します。

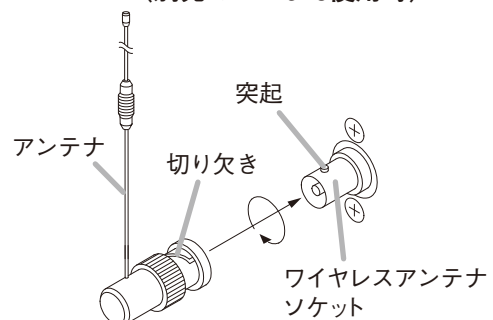
5 スピーカー音量つまみで音量を調節する。

スピーカー音量つまみ1、2で全マイクのみキシング音量を調節します。

× モ

スピーカー音量つまみを時計回りに回し切っても音量が不足する場合は、ワイヤレスマイク音量つまみを時計回りに回して調節します。

アンテナの取り付けかた (別売のYW-510使用時)



- ワイヤレスアンテナソケットの突起にアンテナの切り欠きを合わせて差し込み、アンテナのリングを時計方向に止まるまで回してください。
- アンテナはまっすぐ上に立ててください。

■ 使用上のご注意

● 機器の組み合わせ

本機にはチューナーユニットとワイヤレスマイクは付属していません。必要に応じて、使用できる組み合わせのチューナーユニットとワイヤレスマイクを別途ご用意ください。組み合わせについては、下表を参照してください。

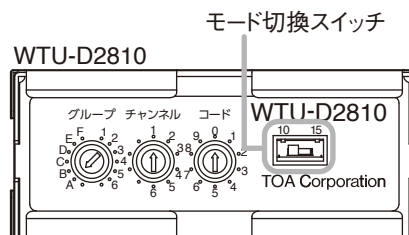
チューナーユニット	通信方式	使用できるワイヤレスマイク	
WTU-1820	アナログ	800 MHz 帯 B 型ワイヤレスマイク	WM-1220、WM-1320 など
WTU-D2810	デジタル	800 MHz 帯デジタルワイヤレスマイク	WM-D1210、WM-D1310 など

ご注意

WTU-D2810 を使用するときは、WTU-D2810 とワイヤレスマイクのモード切換スイッチを「10 ch モード（お買い上げ時の設定）」にしてください。モード切換スイッチがないワイヤレスマイクはそのまま使用できます。

メ モ

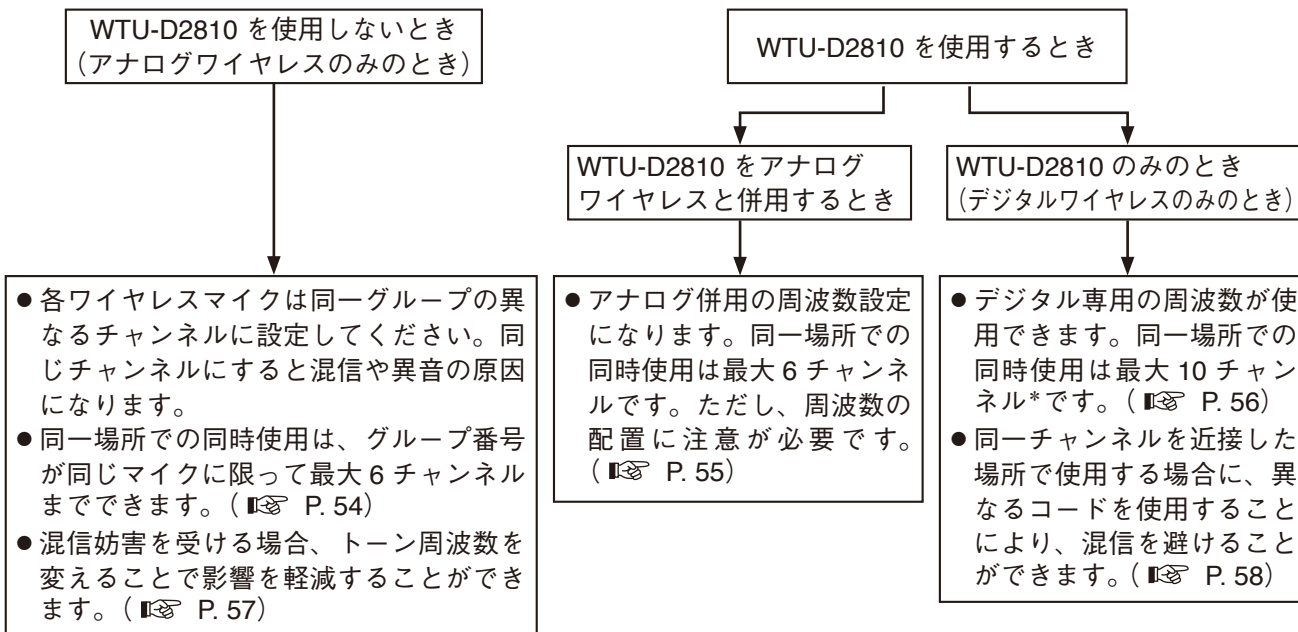
アナログ方式とデジタル方式は混在させて使用できます。



● 周波数の設定が必要なとき

- 同じ周波数のマイクは同時に使用できません。
- 本機の電源スイッチを「入」にして、ワイヤレスマイクの電源を入れる前に本機の受信表示灯が点灯または点滅するときは、設定されたチャンネルが使用中です。他のチャンネルに変更してください。
- チューナーユニットを増設したり、使用中に混信が発生するときは、周波数の設定を変更してください。混信が発生すると、音の途切れや異音が出ることがあります。

● アナログワイヤレスとデジタルワイヤレスの混在について




* 最大 15 チャンネルを同一場所でも使用することもできますが、設定のしかたが異なります。詳しくは WTU-D2810 の「周波数設定ガイド」をお読みください。「周波数設定ガイド」は TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) の WTU-D2810 のページからダウンロードできます。

● 各機器間の距離

- 本機とワイヤレスマイクの距離は 3 m から 20 m 程度で使用してください。
- 3 m 以内で使用すると雑音を発生したり、混信の原因になることがあります。
- 2 つの異なるチャンネルを同時に使用する時、2 つのマイク間の距離は 50 cm 以上離してください。

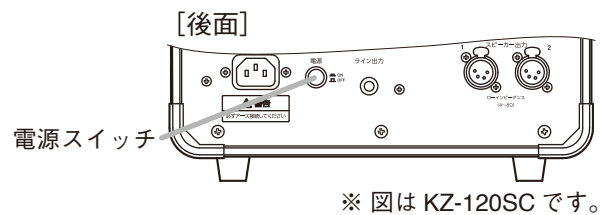
チューナーユニットおよび Bluetooth® ユニットの組み込みかた

チューナーユニットを組み込むときは、指定のチューナーユニット（ 前ページ）を組み込んでください。また、4番スロットには、チューナーユニットの代わりに別売の Bluetooth ユニット WTU-BT01 を組み込むこともできます。

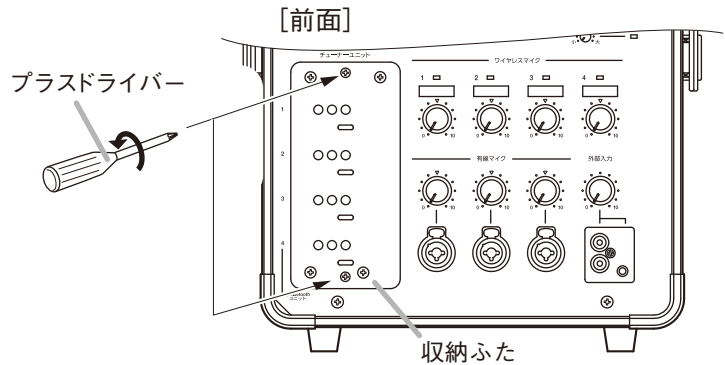
ご注意

- ユニットが指定の品番であることを確認してから組み込んでください。
- 静電気による破損を防ぐため、金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃してから作業を行ってください。
- ユニットの金めっき端子部に触れないようにしてください。
- 必ず本機の電源を切ってから作業してください。

1 後面の電源スイッチを切る。



2 前面のワイヤレスチューナーユニット収納部の収納ふたを外す。



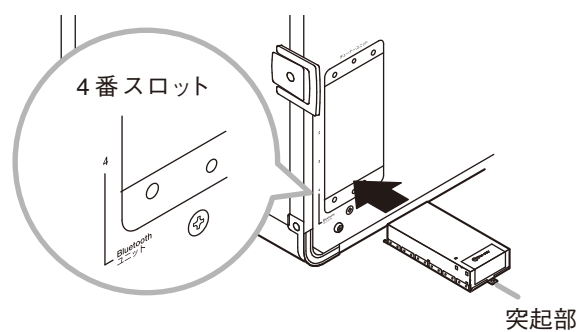
3 チューナーユニットを下図のように挿入し、奥のコネクターに確実に差し込む。

ご注意

- チューナーユニットの上下を間違えないようにご注意ください。
- Bluetooth ユニットを使用する場合、4番スロットに挿入してください。4番以外のスロットに挿入すると、CD プレーヤー、SD/USB プレーヤーおよび予備入力の BGM の音が聞こえなくなることがあります。

メ モ

ユニットを引き出すときは、突起部をラジオペンチなどでつかんで引き抜いてください。





4 チューナーユニット装着後は、収納ふたを元どおりに取り付ける。

ご注意

- 収納ふたは必ず取り付けてください。取り付けないと、チューナーユニットが外れることがあります。
- 収納ふたを取り付けた状態で設定スイッチを変更できるよう、元どおりの方向に取り付けてください。

5 チューナーユニットのグループ番号とチャンネル番号を設定する。

設定のしかたは「周波数の設定のしかた」（ P. 53）をお読みください。

Bluetooth ユニットを使用する場合は、ペアリング（ P. 59）を行ってください。

■ 周波数の設定のしかた

ワイヤレスマイクを使用するには、周波数の設定をする必要があります。次の手順で設定してください。

● 設定のしかた

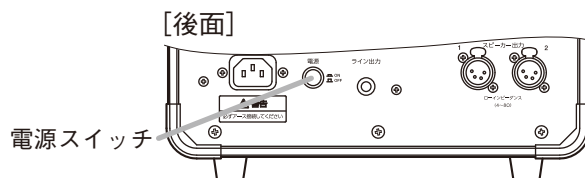
1 設定するグループとチャンネル番号を決める。

デジタルワイヤレスチューナーユニット WTU-D2810 を使用する場合としない場合で異なります。

使用しない場合 次ページ「グループとチャンネル番号の決めかた (WTU-D2810 を使用しない場合)」

使用する場合 P. 55「グループとチャンネル番号の決めかた (WTU-D2810 を使用する場合)」

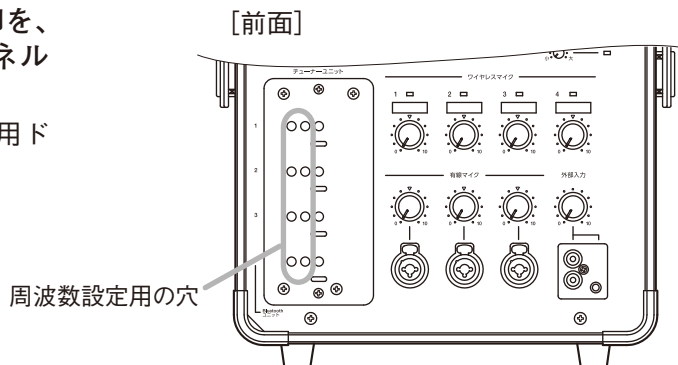
2 後面の電源スイッチを切る。



※ 図は KZ-120SC です。

3 チューナーユニットの設定スイッチの矢印を、あらかじめ決めたグループおよびチャンネル番号の数字に設定する。

設定には、チューナーユニットに付属の設定用ドライバーを使用してください。



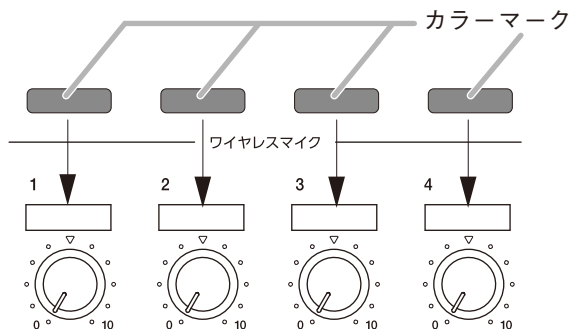
4 ワイヤレスマイクのグループおよびチャンネル番号を、チューナーユニットと同じグループおよびチャンネル番号に設定する。

ご注意

ワイヤレスマイクに付属の設定ドライバーで、設定スイッチの矢印をチューナーユニットと同じグループおよびチャンネル番号の数字に設定してください。

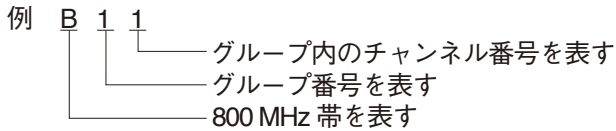
詳しくは、ワイヤレスマイクの取扱説明書をお読みください。

5 音量つまみの上部にあるカラーマーク貼付位置に、ワイヤレスマイクと同じ色のカラーマークを貼る。



チューナーユニット収納部の番号 1、2、3、4 とワイヤレスマイク音量つまみ上部の番号 1、2、3、4 がそれぞれ対応しています。

● 800 MHz 帯ワイヤレスマイクのチャンネル呼称



● グループとチャンネル番号の決めかた (WTU-D2810 を使用しない場合)

下記の周波数表にあるグループとチャンネルの組み合わせで使用してください。

ご注意

ワイヤレスマイクを同時に 2 本以上使用するときは、必ず同じグループの中から異なるチャンネルを選んでください。

[周波数表 (アナログ)]

グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)	グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)	グループ	チャンネル	呼称	周波数 (MHz)
1	1	B11	806.125	3	1	B31	806.625	5	1	B51	807.625
	2	B12	806.375		2	B32	806.875		2	B52	808.125
	3	B13	807.125		3	B33	807.375		3	B53	808.375
	4	B14	807.750		4	B34	808.250		4	B54	808.750
	5	B15	809.000		5	B35	808.625		5	B55	809.625
	6	B16	809.500		6	B36	809.250	6	1	B61	807.250
2	1	B21	806.250	4	1	B41	806.750				
	2	B22	806.500		2	B42	807.500				
	3	B23	807.000		3	B43	808.000				
	4	B24	807.875		4	B44	809.125				
	5	B25	808.500		5	B45	809.375				
	6	B26	808.875		6	B46	809.750				

● グループとチャンネル番号の決めかた (WTU-D2810 を使用する場合)

WTU-D2810 は、お買い上げ時にはグループ番号 A、チャンネル番号 1 (チャンネル呼称 BA1) に設定されています。
周波数表にあるグループとチャンネルから、手順に従ってグループとチャンネル番号を決めて、使用してください。

[同じ場所でアナログワイヤレスシステムを併用する場合 (最大 6 波)]

アナログチューナーユニット (内蔵のチューナーユニットを含む) と併用する場合は、アナログ併用のグループ、チャンネルを使用します。

1 右の周波数表 (アナログ併用) を参照し、グループを「1」～「5」から 1 つ選択する。

※ グループ 6 は使用できるチャンネル数が 1 つしかないのので、対象となりません。

2 その中から使用可能なチャンネルを 1 つ選択する。

グループにより使用できるチャンネル数は異なります。(下表を参照)

グループ	チャンネル
1	1～6
2	1～6
3	1～6
4	1～6
5	1～5

例えば周波数表のグループ「1」の場合、「B11」～「B16」までが使用可能なチャンネルとなります。

ご注意

で示された 2 つの周波数を同時に使用する場合は、いずれもアナログワイヤレスシステムを使用するように周波数の配置をしてください。デジタルとアナログ、両方ともデジタルの組み合わせで使用することはできません。

以外の周波数は、アナログでもデジタルでも割り当てできます。

(例 1：アナログマイク 1 本、デジタルマイク 5 本の場合)

- この組み合わせでは使用できません。

(例 2：アナログマイク 1 本、デジタルマイク 4 本の場合)

- グループ 1～4 で使用してください。グループ 5 では使用できません。
- 例えばグループ 1 で使用する場合、B11 と B12 はどちらか一方しか使用できません。

チャンネル呼称	使用可能マイク	
	使用例①	使用例②
B11	デジタル／アナログ	使用しない
B12	使用しない	デジタル／アナログ
B13	デジタル／アナログ	
B14		
B15		
B16		

[周波数表 (アナログ併用)]

※ GR：グループ、CH：チャンネル

設定	グループ						周波数 (MHz)	
	GR	CH	1	2	3	4		5
1	1	B11						806.125
2	1		B21					806.250
1	2	B12						806.375
2	2		B22					806.500
3	1			B31				806.625
4	1				B41			806.750
3	2			B32				806.875
2	3		B23					807.000
1	3	B13						807.125
6	1						B61	807.250
3	3			B33				807.375
4	2				B42			807.500
5	1					B51		807.625
1	4	B14						807.750
2	4		B24					807.875
4	3				B43			808.000
5	2					B52		808.125
3	4			B34				808.250
5	3					B53		808.375
2	5		B25					808.500
3	5			B35				808.625
5	4					B54		808.750
2	6		B26					808.875
1	5	B15						809.000
4	4				B44			809.125
3	6			B36				809.250
4	5				B45			809.375
1	6	B16						809.500
5	5					B55		809.625
4	6				B46			809.750

(例3：アナログマイク2本、デジタルマイク2本の場合)

- 例えばグループ1で使用する場合は、B11とB12の両方を使用するときは、その2つの周波数にはアナログマイクを配置してください。(使用例④)

チャンネル呼称	使用可能マイク			
	使用例①	使用例②	使用例③	使用例④
B11	デジタル／アナログ	使用しない	使用しない	アナログ
B12	使用しない	デジタル／アナログ (いずれか4波を選択)		
B13	デジタル／アナログ (いずれか3波を選択)		デジタル／アナログ (いずれか2波を選択)	
B14				
B15				
B16				

[同じ場所でデジタルワイヤレスシステムのみを使用する場合 (最大10波)]

WTU-D2810のみを使用する場合は、デジタル専用のグループ、チャンネルが使用できます。

1 右の周波数表 (デジタル専用) を参照し、グループを「A」～「F」から1つ選択する。

[周波数表 (デジタル専用)]

※ GR：グループ、CH：チャンネル

2 その中から使用可能なチャンネルを1つ選択する。

各グループとも5チャンネルまで使用できます。例えば周波数表の「A」グループの場合、A列の「BA1」～「BA5」までが使用可能なチャンネルとなります。

3 1～5波まで使用するときは、手順1で決めたグループと同じグループの中からチャンネルを選択する。

4 6～10波まで使用するときは、手順1で決めたグループと同時使用可能なグループの中からチャンネルを選択する。(下表を参照)

グループ	チャンネル	
A	1～5	同時使用可能なプラン
B	1～5	
C	1～5	同時使用可能なプラン
D	1～5	
E	1～5	同時使用可能なプラン
F	1～5	

設定	グループ							周波数 (MHz)	
	GR	CH	A	B	C	D	E		F
F	1							BF1	806.125
D	1					BD1			806.250
B	1			BB1					806.375
E	1							BE1	806.500
C	1					BC1			806.625
A	1		BA1						806.750
F	2							BF2	806.875
D	2					BD2			807.000
B	2			BB2					807.125
E	2							BE2	807.250
C	2					BC2			807.375
A	2		BA2						807.500
F	3							BF3	807.625
D	3					BD3			807.750
B	3			BB3					807.875
E	3							BE3	808.000
C	3					BC3			808.125
A	3		BA3						808.250
F	4							BF4	808.375
D	4					BD4			808.500
B	4			BB4					808.625
E	4							BE4	808.750
C	4					BC4			808.875
A	4		BA4						809.000
F	5							BF5	809.125
D	5					BD5			809.250
B	5			BB5					809.375
E	5							BE5	809.500
C	5					BC5			809.625
A	5		BA5						809.750

■ トーンスイッチについて (WTU-1820 使用時のみ)

このスイッチ設定を変更するときには販売店にご相談ください。

● 「トーン」のはたらき

ワイヤレスマイクの電源が入っていないときや、ワイヤレスマイクの電源が入っていても妨害電波が強いときに、本機から妨害電波の信号や雑音が聞こえることがあります。

この対策として、トーン信号の含まれていないワイヤレスマイクの電波は、音声を出力しないようにしています。シンセサイザー方式のワイヤレスマイクおよびチューナーユニットはこのトーン信号を3種類搭載しており、状況により切り換えることができます。

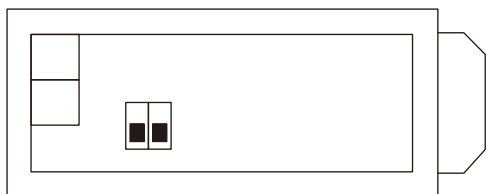
ご注意

混信が非常に強い場合は、トーン信号の周波数を変えても正常に使用できないことがあります。

● トーンスイッチの設定のしかた

1 チューナーユニットの増設のしかたを参考にして、チューナーユニットを引き出す。

2 チューナーユニットのふたを外す。



WTU-1820

3 基板上の2列のトーンスイッチをボールペンの先などで設定する。

トーン信号の周波数はスイッチ位置により下表のように変化します。

スイッチ位置	1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> OFF	1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> OFF	1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> OFF	1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> OFF
トーン信号周波数	B1、B3 グループ 32.768 kHz B2、B4 グループ 32.718 kHz B5、B6 グループ 32.818 kHz	すべてのグループ 32.718 kHz	すべてのグループ 32.768 kHz	すべてのグループ 32.818 kHz

ご注意

- トーンスイッチを切り換える際、内部の調整箇所は絶対に回さないでください。
- ワイヤレスマイクとチューナーユニットは、グループ、チャンネル番号およびトーン信号の周波数がそれぞれ一致しないと正しく受信できません。
- お買い上げの際はトーンスイッチの位置は1、2ともにOFFの位置に設定しています。
- この機能は、トーンスイッチのついているワイヤレスマイクとチューナーユニットの組み合わせでのみ使用できます。トーンスイッチのついていない機器の組み合わせでは、スイッチ1、2ともにOFFの位置で使用してください。

4 ワイヤレスマイクにも同じトーンを設定する。

設定のしかたはワイヤレスマイクの取扱説明書をお読みください。

■ コード設定 (WTU-D2810 使用時のみ)

● コード設定の概要

ワイヤレスマイクとチューナーの間であらかじめコードを決めておき、ワイヤレスマイクから受信するデジタル信号の中にチューナーと同じコードが含まれていれば、音声が出力されます。もし、妨害源となる信号を受信しても、コードが一致しなければ、音声は出力されません。

「0」～「9」までの10種類のコードを搭載しており、状況に応じて切り換えが可能です。

同一チャンネルを近接した場所で使用する場合に、異なるコードを使用することにより、混信を避けることができます。

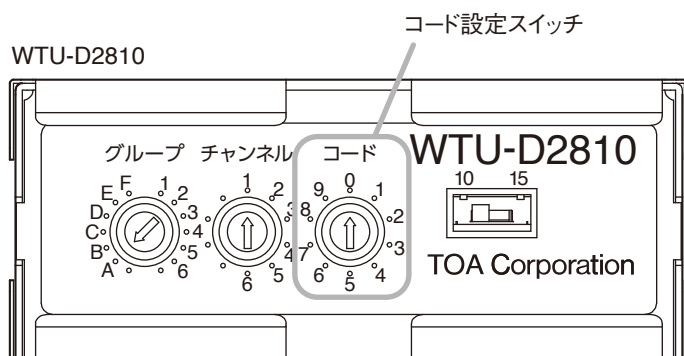
● コード設定のしかた

お買い上げ時には、コードは「0」に設定されています。

1 本機の電源スイッチを切る。

2 コード設定スイッチの矢印を変更したい数字に合わせる。

本機またはチューナーユニットに付属の設定ドライバーを使用してください。



3 ワイヤレスマイクにも同じコードを設定する。

設定のしかたはワイヤレスマイクの取扱説明書をお読みください。

- 5** ペアリングしたスマートフォンで音源を再生する。
音源の再生と再生停止の方法は、スマートフォンの説明書をお読みください。

メモ

スマートフォンの音量は、半分くらいで使用するほうが、より良い音質で使用できます。

- 6** 本機前面の4番のワイヤレスマイク音量つまみを12時の位置に合わせる。

- 7** 本機前面のスピーカー音量つまみで音量を調節する。

スピーカー音量つまみを「10」の位置にしても音量が不足するときは、4番のワイヤレス音量つまみで調節してください。

- 8** 使用後はペアリングを切断する。

切断の方法については、スマートフォンの説明書をお読みください。

外部入力機器（音源機器）の使いかた

ご注意

- 外部入力端子はモノラルです。ステレオ信号を入力しても、合成されてモノラルで再生されます。
- 音源機器を接続するときは、必ず本機の電源を切ってください。
- 本機のすべての音量つまみを「0」の位置に合わせてください。

- 1** 外部入力端子に音源機器を接続する。

MP3プレーヤーなどのヘッドホン出力、またはライン出力を接続します。

入力端子はRCAピンジャックとステレオミニジャックの2つがあります。どちらか片方に接続してください。

入力感度：-10 dB*、5 k Ω (RCAピンジャック)
：-22 dB*、2 k Ω (ステレオミニジャック)
* 0 dB = 1 V

メモ

ヘッドホン出力を使用するときは、音源機器の音量を中程度にしておいてください。

ご注意

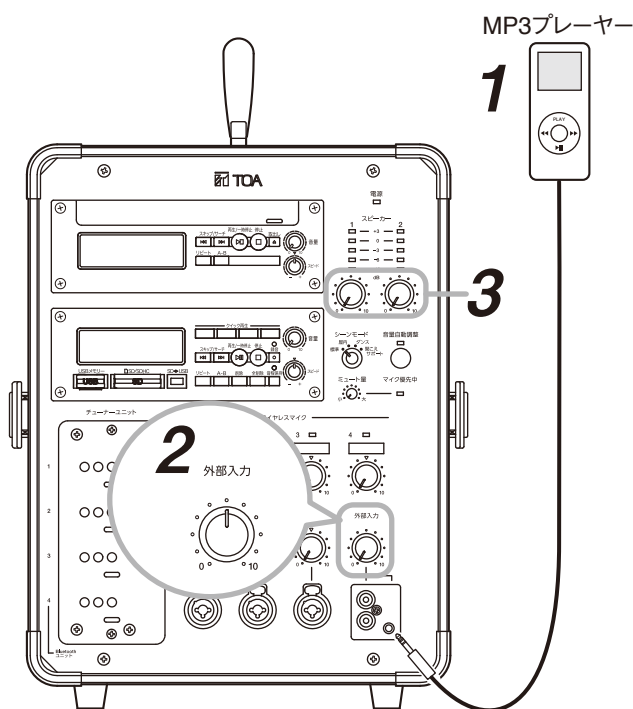
両方の入力端子に同時に接続すると、RCAピンジャックからの音量が小さくなります。その状態で両方の音量を音源機器側で同程度に調節すると、ステレオミニジャックからケーブルを抜いたときに急に大きな音が拡声されます。

- 2** 外部入力音量つまみを12時の位置に合わせる。

- 3** スピーカー音量つまみで音量を調節する。

メモ

- スピーカー音量つまみを「10」の位置まで回し切っても音量が足りないときは、外部入力音量つまみを時計回りに回して調節します。
- それでも音量が足りないときは、音源機器の音量を上げてください。



※ RCAピンジャックに接続する場合は、LとR両方に接続してください。機器内部でミキシングされます。

複数の音源をミキシングするときのコツ

本機には、有線マイク3回路、ワイヤレスマイク4回路（うち1回路はBluetoothユニット使用可能）、CDプレーヤー、SD/USBプレーヤー（KZ-120SCのみ）、および外部入力と、多くの入力を備えています。複数の音源を使用するにあたって、知っておきたい本機の仕様や、より効果的な音量調節のしかたのコツを紹介します。

● マイク放送時のBGM音源*の音量

- 本機は、有線マイクとワイヤレスマイクで放送するとき、BGM音源機器*の音量を自動的に下げることができます。
音量をどれだけ下げられるかはミュート量調節つまみで調節できます。詳しくはP. 11「ミュート量の調節」をお読みください。
- 複数の有線マイクとワイヤレスマイクでの放送が重なっても、各マイクの音量は変化しません。

● 各音源の音量調節と全体の音量調節

- 各音源の音量調節は、各音量つまみで行ってください。特定の音源だけ大きい音量にすると、他の音源が聞き取りにくくなる場合がありますので、バランスよく調節してください。
- 全体の音量調節は、スピーカー音量つまみで行ってください。
- 次のような流れで音量を調節することをお勧めします。

主に使用する音源の音量つまみで音量を調節する。

有線マイクとワイヤレスマイクの場合：推奨位置マーク（▽）に合わせる。
BGM音源機器*の場合：12時の位置に合わせる。



スピーカーから放送される音量をスピーカー音量つまみで調節する。

スピーカー音量つまみを時計回りに回し切っても音量が不足するとき：音源の音量つまみを上げる。




他の音源について、主に使用する音源とバランスを取り、各音源の音量つまみで音量を調節する。

複数のBGM音源機器*を使用する場合：音量自動調整機能の使用も可能（下記参照）

ご注意

スピーカー出力表示灯がすべて点灯し続ける状態では、保護回路が動作し、音が出なくなることがあります。そのときは、スピーカー音量つまみを反時計回りに回し、音量を下げてください。

● 複数のBGM音源機器*の出力音量をそろえるには

BGM音源は、曲（ジャンル）によって録音レベルが異なります。音量自動調整ボタン（ P. 9）で音量自動調整機能を有効にすると、録音レベルの異なる音源を自動的に同じくらいの音量で聞こえるように調整することができます。音量自動調整機能を使用するときは、あらかじめ各音源の音量を大きめに設定しておくこと、より効果的です。

ご注意

音量自動調整機能を使った場合、調整の影響で、以下のように感じる場合があります。

- ・各プレーヤーの音量つまみを調節しても音量が変化しない
- ・音質が変化したように聞こえる

このような現象が気になるときは、音量自動調整機能を無効にしてください。

メモ

曲の再生中など、本機で音声を出力しているときに、音量自動調整機能の有効／無効を切り換えると、音声は0.3秒間途切れます。

* CDプレーヤー、SD/USBプレーヤー、ペアリングしたBluetooth機器、外部入力に接続された機器

故障かな？と思ったら

症 状	点検項目	処 置
電源スイッチを「入」にしても電源表示灯が点灯しない。(電源が入らない。)	電源コードが本体とコンセントに接続されていますか？	本体の AC 電源インレットとコンセントに、電源コードを接続してください。
音が出ない。	スピーカーが接続されていますか？	スピーカーを確実に接続してください。(P. 12、P. 13、P. 14)
	音量つまみが「0」になっていませんか？	音量つまみを時計回りに回してください。
有線マイクとワイヤレスマイク以外の音が出ない。	ミュート量が最大になっていませんか？	ミュート量を調節してください。(P. 11)
Bluetooth 機器を使用しているときに、Bluetooth 機器の音は出するのに CD プレーヤーユニット、SD/USB プレーヤーユニットおよび外部入力の音が出ない。	Bluetooth ユニットが 1～3 番スロットに組み込まれていませんか？	Bluetooth ユニートを 4 番スロットに組み込んでください。
使用中に突然音が出なくなった。	機器内部の温度が高くなるような環境で使用していませんか？	風通しの良い日陰に設置して、機器の温度が下がるようにしてください。
	正常に読み込めていますか？	ディスクを取り出して、再度読み込むことで解消することがあります。
	スピーカー出力表示灯がすべて点灯し続けていませんか？	スピーカー音量つまみを反時計回りに回してください。

[ワイヤレスマイクを使用のとき]

症 状	点検項目	処 置
受信表示灯が点灯しない。(受信しない)	チューナーユニットが入っていますか？	チューナーユニットを入れてください。
	ワイヤレスマイクの電源スイッチは ON になっていますか？	ワイヤレスマイクの電源スイッチを ON にしてください。
	ワイヤレスマイクの乾電池は消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	ワイヤレスマイクのチャンネル (B○○) とチューナーユニットの (B○○) が合っていますか？	ワイヤレスマイクとチューナーユニットのグループ・チャンネル番号設定で、チャンネル (B○○) を同じにしてください。
受信表示灯が点滅する。(WTU-D2810 を組み込んでいる場合のみ)	コード設定は正しいですか？	チューナーユニットとワイヤレスマイクのコード設定を同じにしてください。(P. 58)
	モード設定は正しいですか？	チューナーユニットとワイヤレスマイクのモード設定を同じにしてください。(P. 51)
	マイクの電源を OFF にしても受信表示灯は点滅していますか？	マイクの電源が OFF でも点滅していれば、妨害電波の受信が考えられます。周波数の設定を変更してください。(P. 53)
音が出ない。	音量つまみが「0」になっていませんか？	音量つまみを時計回りに回してください。

[CD プレーヤーユニットを使用のとき]

症 状	点検項目	処 置
コンパクトディスク (CD) が入らない。	すでに、ディスクが1枚入っていませんか？	入っているディスクを取り出してから次のディスクを入れてください。
CD を入れても出てきてしまう。	ディスクがひどく汚れていませんか？	ディスクのクリーニングをしてください。(P. 26)
	直射日光が当たるなどして、機器の温度が極端に高くなっていませんか？	風通しの良い日陰に設置して、機器の温度が下がるようにしてください。
	—————	タイミングにより入らないことがあります。もう一度入れ直してください。
	ディスクがCD-RWではないですか？	CD-R に書き換えてください。
CD の読み込みに1分以上かかる。	ファイナライズされていないCD-R を使っていませんか？	CD-R をファイナライズしてください。
	ディスクが不良ではありませんか？	ディスクを取り出して、再度読み込むことで解消することがあります。それでも解消しないときは、他のディスクを再生してみてください。良くなれば、ディスクの不良が考えられます。
突然表示が消えた。	何も操作せずに5分以上経っていませんか？	再生/一時停止ボタン、停止ボタン、取出しボタンのいずれかを押しと再度表示します。
CD の音が飛んだり、同じところを演奏したりする。	ディスクが不良ではありませんか？	他のディスクを再生してみてください。良くなれば、ディスクの不良が考えられます。
	ディスクがひどく汚れていませんか？	ディスクのクリーニングをしてください。(P. 26)
音が極端に小さい、または音が出ない。	CD 音量つまみが「0」になっていませんか？	CD 音量つまみを時計回りに回してください。
	ミュート量が最大になっていませんか？	ミュート量を調節してください。(P. 11)
CD の音質が悪い。	ディスクが不良ではありませんか？	他のディスクを再生してみてください。良くなれば、ディスクの不良が考えられます。
	ディスクがひどく汚れていませんか？	ディスクのクリーニングをしてください。(P. 26)
	結露していませんか？	他のディスクを再生してみてください。良くなれば、ディスクの不良が考えられます。
CD が取り出せない。 ※ ディスクを入れたまま電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いたりすると、ディスクが取り出せません。右の処置を施した後、取り出しボタンを押してディスクを取り出してください。	電源スイッチが切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れてください。
再生スピードが通常と違う。	スピード調節つまみが「-」または「+」側になっていませんか？	つまみの指針を中央に戻してください。
音量つまみを最小の位置にしても再生している音がかすかに聞こえる。	(本機では、音量つまみを最小の位置にしても、音量を絞り切ることとはできません。)	音量を完全に絞り切りたい場合は、一時停止状態にしてください。

症 状	点検項目	処 置
「CD ■ 000」が表示される。	ディスクに音源が入っていますか？	音源の入ったディスクを挿入してください。
	正常に読み込めていますか？	ディスクを取り出して、再度読み込むことで解消することがあります。

[SD/USB プレーヤーユニットを使用のとき]

症 状	点検項目	処 置
SD/USB を読み込まない。	指定のフォーマットですか？	SD カード、または USB メモリーを指定のフォーマットで初期化してください。(P.28)
USB を読み込まない。	USB ハブを経由して接続していませんか？	USB メモリーは直接本機に接続してください。
	USB2.0 の USB メモリーを使用していますか？	USB2.0 の USB メモリーを使用してください。
音が極端に小さい、または音が出ない。	SD/USB 音量つまみが「0」になっていませんか？	SD/USB 音量つまみを時計回りに回してください。
	ミュート量が最大になっていませんか？	ミュート量を調節してください。(P.11)
音源データを認識しない、または選曲できない。	SD カード、USB メモリーは正しく挿入されていますか？	正しく挿入してください。
	音源データは MP3 ファイルまたは WMA ファイルの形式ですか？	MP3 ファイルまたは WMA ファイルの入った音源メディアを使用してください。
	データが破損していませんか？	データを入れなおしてください。
	データの読み込みに時間がかかっていませんか？	電源を入れなおしてください。早く読み込める場合があります。
	(音源データの中に無効なタグ情報が含まれている可能性があります。)	音源データのタグ情報を削除してからご使用ください。(P.29)
音源データが再生できない。	データが破損していませんか？	音源メディアを初期化してデータを入れなおしてください。
再生スピードが通常とちがう。	スピード調節つまみが「-」または「+」側になっていませんか？	つまみの指針を中央に戻してください。
音量つまみを最小の位置にしても再生している音がかすかに聞こえる。	(本機では、音量つまみを最小の位置にしても、音量を絞り切ることはできません。)	音量を完全に絞り切りたい場合は、一時停止状態にしてください。
突然表示が消えた。	何も操作せずに 5 分以上経っていませんか？	クイック再生ボタン、再生/一時停止ボタン、停止ボタンのいずれかを押すと再度表示します。
「SD ■ 000」または「USB ■ 000」が表示される。	SD カード、USB メモリーに音源が入っていますか？	音源の入った SD カード、USB メモリーを挿入してください。

[Bluetooth 機器を使用のとき]

症 状	点検項目	処 置
ペアリングができない。	ワイヤレス受信表示灯が点灯していませんか？	本機の電源を入れなおして、再度ペアリングをなおしてください。(P. 59)
	複数のスマートフォンなどで同時にペアリングしませんでしたか？	本機の電源を入れなおして、1台でペアリングをなおしてください。(P. 59)
音が極端に小さい、または音が出ない。	音量つまみが「0」になっていませんか？	音量つまみを時計回りに回してください。
	Bluetooth 機器とペアリングしていますか？	Bluetooth 機器とペアリングしてください。(P. 59)
	ミュート量が最大になっていませんか？	ミュート量を調節してください。(P. 11)
	Bluetooth 機器自体の音量が最小になっていませんか？	Bluetooth 機器の音量を調節してください。
Bluetooth 機器の音は出るのに CD プレーヤーユニット、SD/USB プレーヤーユニット、および外部入力音が出ない。	Bluetooth ユニットが 1～3 番スロットに組み込まれていませんか？	Bluetooth ユニートを 4 番スロットに組み込んでください。

[外部入力機器（音源機器）を使用のとき]

症 状	点検項目	処 置
音が極端に小さい、または音が出ない。	外部入力音量つまみが「0」になっていませんか？	音量つまみを時計回りに回してください。
	外部入力機器自体の音量が最小になっていませんか？	外部入力機器の音量を調節してください。
	ミュート量が最大になっていませんか？	ミュート量を調節してください。(P. 11)

品番	KZ-120SC	KZ-120SC-H
使用温度範囲	0～40℃	
使用湿度範囲	85% RH 以下（ただし結露のないこと）	
仕上げ	キャリングケース：アルミエンボス加工、シルバー パネル：表面処理鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装	
寸法	303（幅）× 392（高さ）× 416（奥行）mm	
質量	12 kg	
適合スピーカー	KZ-1200、KZ-1200E （スピーカー側に接続ケーブル付属）	ハイインピーダンス 100 系スピーカー

*1 0 dB = 1 V

*2 SDXC カードには対応していません。

*3 USB2.0 のみ対応可能です。USB3.0 には対応していません。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

TOA 株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

※ Windows および Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

● 付属品（KZ-120CD、KZ-120SC、KZ-120SC-H）

電源コード（2 m）..... 1

● 別売品（KZ-120CD、KZ-120SC、KZ-120SC-H）

ダイバシティチューナーユニット：WTU-1820（アナログ）、WTU-D2810（デジタル）

※ ワイヤレスマイクは、WTU-1820 の場合はアナログ方式、WTU-D2810 の場合はデジタル方式を別途ご用意ください。

Bluetooth ユニット：WTU-BT01

直付型ワイヤレスアンテナ：YW-510

壁取付用ワイヤレスアンテナ：YW-550

著作権について

- テレビ、ラジオ放送、レコード、CD などから録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- したがって、それらから録音した音源を売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては、下記の「日本音楽著作権協会」(JASRAC) へお尋ねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 (<https://www.jasrac.or.jp>)

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。	ナビダイヤル 0570-064-475（有料）	
受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）	FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00442-05